

社会福祉法人 渋谷区社会福祉事業団

令和 4 年 度 事 業 報 告 書

令和4年度 渋谷区社会福祉事業団 事業報告

少子高齢化の動きは継続しており、人口減少が進む中で生産年齢人口も減少している。当事業団の提供するサービスの担い手である福祉人材の確保は、一層厳しい状況となってきた。

また、各運営施設は令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、利用者もしくは職員の感染や濃厚接触者に特定されることにより、特養での面会中止、ショートステイ事業の利用者一時受入れ停止、保育園でのクラス閉鎖等を余儀なくされてきた。

このような状況下で当事業団は、区、保健所、協力病院などの関係機関との連携や、施設間及び職員相互の協力により組織的に対応し、各受託施設を着実に運営してきた。

一方で区が目指す、高齢者、障がい者、子ども・子育て等の各分野を横断的に連携・協働する包括的な相談・地域づくりのための重層的支援体制整備事業において、地域包括支援センターは、包括的相談支援の窓口として位置付けられた。これまでの高齢者とその家族に加えて、障がいのある方等の相談を受けることとなるため、新たな相談に対応するための体制を整えるとともに、令和5年度から受託する2つの地域包括支援センターの開設準備を進めた。

令和4年度に実施した事業の概要は、次のとおりである。

1 人材の確保と育成

(1) 職員の採用活動の強化

職員の採用、育成を担当する部門と事業部門との連携を的確に図る中、ハローワークや各種の募集ウェブサイトなどを活用したほか、事業団のホームページの採用欄を随時変更し、応募者にアピールするなど、人材の確保に努めた。

(2) 介護職員等の処遇改善

従来の処遇改善加算制度に加え、新たな補助金も活用し職員の処遇改善を進めた。

(3) 職員宿舍借上げ事業

認定こども園、保育園では、引き続き保育従事職員借上げ事業を継続し、令和4年度は、47人の職員が利用した。

(4) 職員の育成

認定こども園・保育園で毎年実施していた海外研修は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、国内視察は令和5年2月、応答的保育に先駆的な取り組みをしている保育園を訪問した。

2 施設及び事業の管理運営

施設及び事業の管理運営に当たっては、当事業団設立当初の「事業団設立趣意書」に基づき、次の基本方針を踏まえた事業執行を行い、区民福祉の増進を図った。

[基本方針]

- 1 利用者の人格、個性を尊重し、利用者のより快適な生活実現のためのサービス提供を行う。
- 2 地域に根差し、地域に親しまれる開かれた施設づくりを目指す。
- 3 社会の変化や区民の要請に的確に対応できる柔軟な組織や運営体制の確立を図る。

[施設及び事業]

- 1 渋谷区社会福祉事業団本部事務局の運営
 - (1) 本部事務局
 - (2) こども未来課
 - (3) 施設課
- 2 「渋谷区あやめの苑・代々木」の管理運営
 - (1) 特別養護老人ホーム事業
 - (2) 高齢者在宅サービスセンター事業
 - ア ショートステイ事業
 - イ デイサービス事業
 - ウ 介護者教室事業
- 3 「渋谷区美竹の丘・しぶや」の管理運営
 - (1) 特別養護老人ホーム事業
 - (2) ショートステイ事業
- 4 母子生活支援施設の管理運営
- 5 障害福祉サービス事業所（生活介護）「渋谷区生活実習所つばさ」の管理運営
- 6 授産施設「渋谷区立幡ヶ谷授産場」の管理運営
- 7 障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）「渋谷区立幡ヶ谷のぞみ作業所」の管理運営
- 8 「渋谷区立新橋作業所」の管理運営
 - (1) 障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）
 - (2) 物品受託加工事業
- 9 認定こども園「神宮前あおぞらこども園」の管理運営
- 10 認定こども園「本町きらきらこども園」の管理運営
- 11 認定こども園「恵比寿のびのびこども園」の管理運営
- 12 認定こども園「本町そよかぜこども園」の管理運営

- 1 3 「神宮前保育園にじ」の管理運営
- 1 4 「西原保育園ゆめ」の管理運営
- 1 5 地域包括支援センターの管理運営
 - (1) 「渋谷区豊沢・新橋地域包括支援センター」の管理運営
 - (2) 「渋谷区恵比寿西二丁目地域包括支援センター」の管理運営
 - (3) 「渋谷区富ヶ谷・上原地域包括支援センター」の管理運営
 - (4) 「渋谷区総合ケアコミュニティ・せせらぎ地域包括支援センター」の管理運営
 - (5) 「渋谷区あやめの苑・代々木地域包括支援センター」の管理運営
 - (6) 「渋谷区つばめの里・本町東地域包括支援センター」の管理運営
 - (7) 「渋谷区笹幡地域包括支援センター」の管理運営
 - (8) 「渋谷区千駄ヶ谷・北参道地域包括支援センター」の管理運営
 - (9) 「渋谷区ケアコミュニティ・原宿の丘地域包括支援センター」の管理運営

◇ 事業団の職員配置（令和5年3月31日現在）

	事務局長	部長	課長	事務	介護支援 専門員	介護士	理学 療法士
正規職員	1人	3人	21人	18人	46人	86人	2人
(増減)	－	－	+2人	▲1人	+1人	+2人	－
非正規職員	－	－	－	6人	7人	38人	－
(増減)	－	－	－	+1人	▲1人	+2人	－
	作業 療法士	保健師・ 看護師	栄養士	調理	母子 支援員	少年 指導員	生活 支援員
正規職員	2人	35人	2人	4人	3人	1人	9人
(増減)	－	+4人	▲1人	－	－	－	－
非正規職員	－	4人	1人	2人	1人	－	6人
(増減)	－	▲2人	－	－	－	－	▲1人
	職業 指導員	施設管理	保育士	用務	心理療法 担当職員	合 計	
正規職員	6人	3人	122人	－	－	364人	
(増減)	+1人	－	▲6人	－	－	+2人	
非正規職員	7人	1人	36人	6人	－	115人	
(増減)	▲1人	▲1人	+4人	－	－	+1人	
(増減)					総合計	479人	
					(増減)	+3人	

+ : 増加 ▲ : 減少 - : 増減なし

※ 部長は、こども未来部長、あやめの苑・代々木施設長、美竹の丘・しづや施設長

※ 課長は、本部事務局総務課長、人事課長、保育支援担当課長、施設課長、あやめの苑・代々木参与、総務課長、事業課長、美竹の丘・しづや副施設長、総務課長、事業課長、母子生活支援施設施設長、生活実習所つばさ施設長、幡ヶ谷授産場施設長（幡ヶ谷のぞみ作業所施設長兼務）、新橋作業所施設長、神宮前あおぞらこども園園長、本町きらきらこども園園長、恵比寿のびのびこども園園長、本町そよかぜこども園園長、神宮前保育園にじ園長、西原保育園ゆめ園長、地域包括ケア担当課長

※ 正規職員は、給与規程の適用を受ける職員（特定職員、再任用職員、渋谷区からの派遣職員を含む。ただし、週40時間未満の職員は除く）（以下、同じ。）

※ 非正規職員には、再任用職員（週40時間未満勤務）、準職員、非常勤職員及び臨時職員を含む。（以下、同じ。）

※ 上記のほか短時間勤務臨時職員あり（事務・介護士・看護師・調理・少年指導員・生活支援員・保育士・心理療法士）

◇ 事業団の各施設の定員（令和5年3月31日現在）

施設名	事業種類	定員数
あやめの苑・代々木	特別養護老人ホーム	70人
	ショートステイ	10人
	デイサービス（総合事業含む）	33人
美竹の丘・しぶや	特別養護老人ホーム	127人
	ショートステイ	28人
母子生活支援施設	母子生活支援施設	16世帯（52人）
生活実習所つばさ	障害福祉サービス事業所（生活介護）	20人
幡ヶ谷授産場	授産施設	30人
幡ヶ谷のぞみ作業所	障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）	20人
新橋作業所	障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）	25人
	物品受託加工事業	10人
神宮前あおぞらこども園	認定こども園	123人
本町きらきらこども園	認定こども園	123人
恵比寿のびのびこども園	認定こども園	118人
本町そよかぜこども園	認定こども園	121人
神宮前保育園にじ	保育園	45人
西原保育園ゆめ	保育園	106人

渋谷区社会福祉事業団本部事務局の事業報告

I 本部事務局

1 理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会

次のとおり、理事会、評議員会及び評議員選任・解任委員会を開催した。

(1) 理事会の開催状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

	開催日	議 題	備 考
第111回	令和4年 5月25日	(報告事項) 1 職務執行状況について 2 令和3年度 会計監査人監査報告 3 令和3年度 監事監査報告 4 社会福祉充実計画について (議案) 1 評議員選任・解任委員の選任 2 令和3年度 事業報告 3 令和3年度 前期末支払資金残高の一部取崩 4 令和4年度 当期末繰越活動増減差額の一部積立 5 令和3年度 決算 4 会計監査契約の更新 5 役員等賠償責任保険契約について 6 定時評議員会の招集	原案どおり決定 〃 〃 〃 〃 〃 〃
第112回	令和4年 12月21日	【決議の省略】 (議案) 1 評議員選任候補者の推薦	原案どおり決定
第113回	令和5年 3月 1日	【決議の省略】 (議案) 1 評議員会の開催	原案どおり決定
第114回	令和5年 3月23日	(報告事項) 1 職務執行状況について 2 評議員の選任について (議案) 1 施設の長の選任 2 理事の推薦 3 評議員選任・解任委員の選任 4 組織及び事務分掌規程の一部改正	原案どおり決定 〃 〃 〃

		5 専任役員の報酬等に関する規程の変更について	原案どおり決定
		6 令和4年度 補正予算	〃
		7 令和5年度 事業計画	〃
		8 令和5年度 予算	〃
		9 工事請負契約の締結について	〃

(2) 評議員会の開催状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

	開催日	議 題	備 考
第69回	令和4年 6月23日	(報告事項) 1 令和3年度 会計監査人監査報告 2 令和3年度 監事監査報告 3 社会福祉充実計画について (議案) 1 会計監査人の選任 2 令和3年度 事業報告 3 令和3年度 決算	原案どおり決定 〃 〃
第70回	令和5年 3月23日	(議案) 1 理事の選任 2 専任役員の報酬等に関する規程の変更について 3 令和5年度 事業計画 4 令和5年度 予算	原案どおり決定 〃 〃 〃

(3) 評議員選任・解任委員会の開催状況（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

	開催日	議 題	備 考
第8回	令和4年 4月5日	【決議の省略】 (議案) 1 評議員の選任	原案どおり決定
第9回	令和4年 12月28日	【決議の省略】 (議案) 1 評議員の選任	原案どおり決定

2 予算・決算等の調整及び予算の執行統制

3 職員の人事管理・福利厚生・研修

- (1) 職員の人事管理・給与管理を行った。
- (2) 職員の健康管理のための健康診断を実施した。
- (3) 職員の福利厚生のための共済会等の加入事務を行った。
- (4) 職員研修の受講の調整、啓発を行った。

4 渋谷区及び各施設との連絡調整

本部事務局は、各施設と業務委託者である渋谷区との連絡調整の役目を担い、施設や事業の目的を明確にし、各施設がより効果的な事業運営ができるよう側面から援助を行った。

5 こども園及び保育園に関する経営管理

こども未来課が各こども園・保育園を統括し、円滑なこども園・保育園運営の支援を行った。

6 本部事務局（総務課・人事課・こども未来課）の職員配置

（令和5年3月31日現在）

	事務局長	部長	課長	事務	施設管理	保育士	合計
正規職員	1人	1人	3人	10人	1人	1人	17人

※ 部長は、こども未来部長（事務1人）

※ 課長は、総務課長（事務1人）、人事課長（事務1人）、保育支援担当課長（保育士1人）

7 本部事務局の勤務体制

職員の勤務時間は、午前8時30分から午後5時15分までである。

II 施設課

1 複合施設「渋谷区美竹の丘・しぶや」の施設維持管理

施設全体の維持管理として、清掃、総合案内、設備保守管理、24時間警備、外構管理等を担当し、施設が安全で常に清潔であるように努めた。

令和4年度は、消防・防災訓練を2回実施した。

2 「シニア・いきいきコミュニティ・美竹の丘」の管理運営

多目的ホール、会議室、料理室、クラブ室、和室、集会室を有するコミュニティ施設の管理運営により、登録団体に文化・コミュニティ活動の場を提供した。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、団体利用の制限及び一部施設の利用休止を行った。

また、地域で運営されるコミュニティ委員会の活動支援に努めた。

3 施設課の職員配置（令和5年3月31日現在）

	館長 (施設課長)	事務	施設管理	合計	総合計
正規職員	1人		2人	3人	6人
非正規職員		2人	1人	3人	

4 施設課の勤務体制

職員は1か月ごとの勤務割表により、週平均40時間勤務する。

職種	勤務	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23		
事務 施設管理	平常	8:30	—————											17:15							
	遅番						12:30	—————											21:15		

渋谷区あやめの苑・代々木の事業報告

渋谷区あやめの苑・代々木は、特別養護老人ホームと高齢者在宅サービスセンターが併設された地域の高齢者福祉施設である。

特養及びショートステイ事業では、定員80床を5グループに分け、1グループ16人として、決まった職員が小人数の介助を行うことで、なじみの深い関係を作り、安心した環境で快適に生活できるように努めている。

またデイサービス事業では、平成29年度から通所型サービスC（短期集中リハビリトレーニング）を実施し、要介護状態となることを予防するための機能強化に重点をおいたサービスを提供し、多様なニーズに応え、より積極的な介護予防を推進している。

令和4年度における新型コロナウイルス感染者（家庭内感染も含む）は、施設に関係する職員36人、特養入居者10人、ショート利用者6人、デイサービス利用者1人、関係業者4人であった。従来型の施設で多床室が多いことから、対応には非常に苦労したが、感染が大きく拡大することなく収束させることができた。グループ単位のゾーニング、同居家族が体調不良の際の施設連絡を徹底し速やかに感染症への対策を講じること等により感染の拡大を防ぐことができた。また、毎週定期的に職員のPCR検査を実施する他、抗原検査も追加で毎週実施し、平時のスクリーニングを徹底した。年末年始の感染拡大期には、ショート利用者についても入所時や必要時に抗原検査を実施し、利用前に水際で発見するよう努めた。さらに、就業前の検温の徹底、全職員の手指消毒の徹底（介護職員は特にケアの前後の消毒の徹底）、保健所、管理医よりの的確な指示を得ながら、職員が一丸となって感染拡大防止に努めた。

今年度、渋谷区から受託した事業は、次のとおりである。

- ◆ 特別養護老人ホーム事業
- ◆ 高齢者在宅サービスセンター事業
 - ・ショートステイ事業
 - ・デイサービス事業

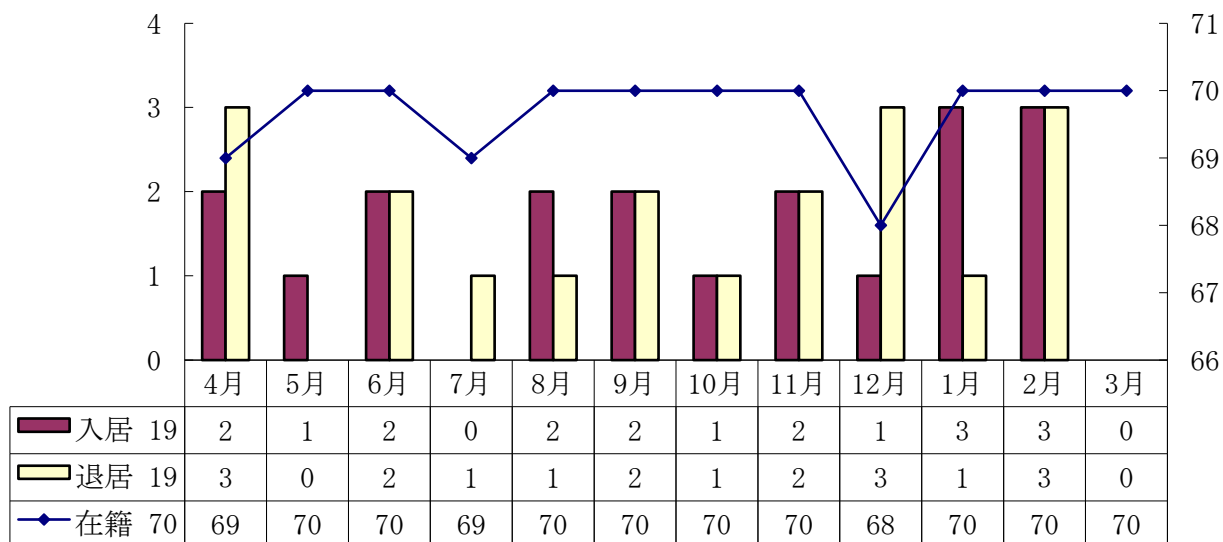
それぞれの事業の運営状況は以下のとおりである。

1 施設の利用状況

(1) 特別養護老人ホーム事業 (定員70人)

ア 入退居の状況

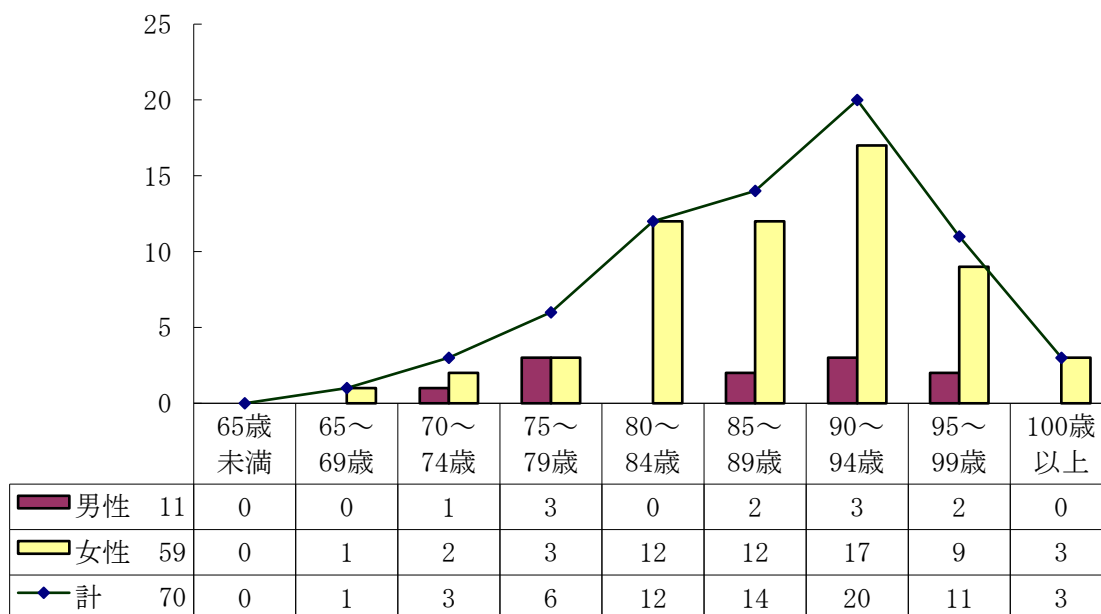
(単位：人)



※ 平均利用率 97.3% (96.0%) ()内は前年度

イ 入居者の年齢・性別 (令和5年3月31日現在)

(単位：人)

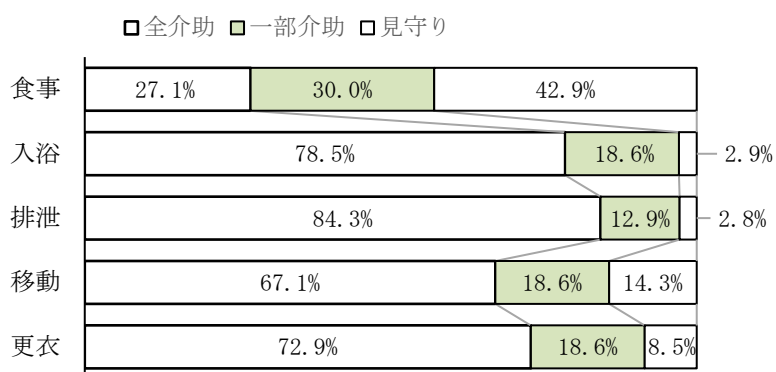


※ 平均年齢 全体 88.0歳 (87.0歳) 男性 86.3歳 (82.7歳) 女性 88.4歳 (87.9歳)

※ 最高齢者 男性 99歳 (97歳) 女性 104歳 (103歳) ()内は前年度

ウ 入居者の介助状況（令和5年3月31日現在）

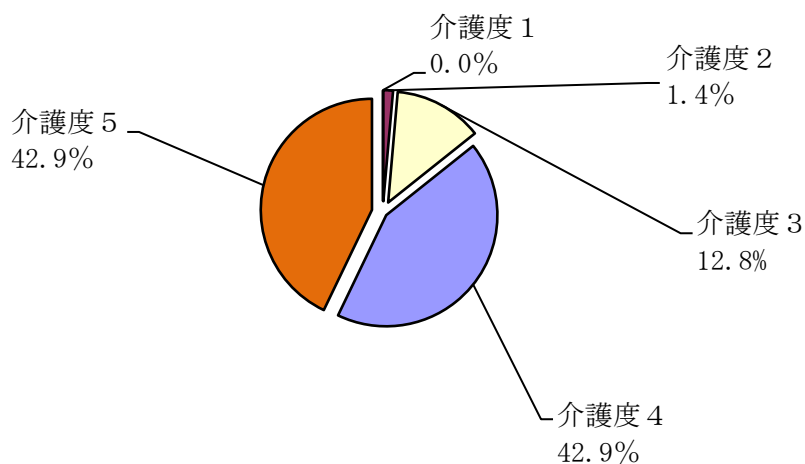
	全介助	一部介助	見守り
食 事	19人	21人	30人
入 浴	55人	13人	2人
排 泄	59人	9人	2人
移 動	47人	13人	10人
更 衣	51人	13人	6人



エ 入居者の要介護度（令和5年3月31日現在）

要介護度	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	計
入居者数	0人	1人	9人	30人	30人	70人
	0.0%	1.4%	12.8%	42.9%	42.9%	100.0%

※ 平均介護度 4.3 度（4.3 度） （ ）内は前年度



オ 入居者の疾病状況（重複計上）

疾患群	病名	人数
脳血管系疾患	多発性ラクナ梗塞、多発性脳血管障害、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、多発性脳梗塞、パーキンソン病、脳梗塞、陳旧性ラクナ梗塞、脳動脈瘤、クモ膜下出血、外傷性クモ膜下出血、頭部外傷後遺症、アカシジア、髄膜種、水頭症	34人
悪性新生物	乳癌、胃癌、大腸癌、肺癌、癌肉腫、膀胱癌、前立腺癌、上行結腸癌	12人
発達障害 精神神経系疾患	認知症、アルツハイマー型認知症、血管性認知症、前頭側頭型認知症、レビー小体型認知症、うつ病、てんかん、症候性てんかん、統合失調症、双極性障害、小児麻痺	63人
循環器系疾患	高血圧、慢性心不全、狭心症、心房細動、深部静脈血栓症、陳旧性心筋梗塞、大動脈弁狭窄症、僧帽弁狭窄症、頸動脈硬化症、動脈硬化症、下肢静脈瘤、下肢静脈血栓症	61人
呼吸器系疾患	肺Mac、気管支喘息、慢性気管支炎、慢性閉塞性肺疾患、陳旧性肺結核、	7人
内分泌系疾患	糖尿病、高血糖症、高脂血症、脂質異常症、高コレステロール血症	27人
筋骨格系疾患	廃用性症候群、骨粗鬆症、変形性膝関節症、両側変形性股関節症、慢性関節リウマチ、変形脊椎症、顎関節脱臼、腰部脊椎管狭窄症、頸椎症性脊髄症、サルコペニア、下顎膿瘍、痛風	32人
消化器系疾患	便秘症、胆のう炎、B型肝炎、逆流性食道炎、胆管結石、食道裂孔ヘルニア、慢性胃炎、胆のう結石、横隔膜ヘルニア、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胆管炎、出血性内痔核	19人
眼科系疾患	白内障、緑内障	6人
婦人科系疾患	卵巣嚢腫	1人
泌尿器系疾患	腎機能障害、慢性腎不全、前立腺肥大、尿路感染症、腎盂腎炎、尿管結石、高尿酸血症、非神経因性過活動膀胱、急性細菌性前立腺炎	15人
皮膚科系疾患	皮脂欠乏性湿疹、進行性指掌角皮症、蜂窩織炎、帯状疱疹	8人
自己免疫疾患	橋本病、甲状腺機能低下症、サルコイドーシス	5人
血液系疾患	貧血、敗血症	6人

(2) ショートステイ事業

－短期入所生活介護事業、介護予防短期入所生活介護事業－

◆ 月別利用状況（定員：10人／日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数	36人	35人	36人	34人	41人	39人
利用日数	259日	268日	284日	247日	280日	273日
平均利用日数	7.2日	7.7日	7.9日	7.3日	6.8日	7.0日

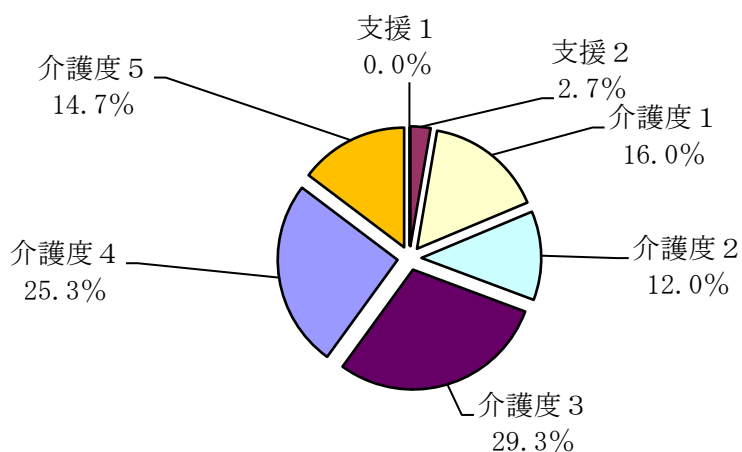
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	39人	40人	33人	34人	42人	38人	447人
利用日数	276日	290日	202日	238日	304日	281日	3,202日
平均利用日数	7.1日	7.3日	6.1日	7.0日	7.2日	7.4日	7.2日

※ 平均利用率 87.9% (86.3%) ()内は前年度

◆ ショートステイ利用者の要介護度（年間・実人員）

	支援1	支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	計
利用者数	0人	2人	12人	9人	22人	19人	11人	75人
	0.0%	2.7%	16.0%	12.0%	29.3%	25.3%	14.7%	100.0%

※ 平均介護度 3.1度 (2.9度) *要支援を除く。()内は前年度



(3) デイサービス事業

－通所介護事業、介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）、介護予防支援事業－
ア デイサービス

(ア) 通所介護、介護予防・総合事業（国基準相当）、介護予防支援

◆ 月別利用状況（定員 25 人／日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数 a	417人	416人	405人	386人	391人	362人
利用者数 b	96人	77人	77人	69人	75人	76人
利用者数 c	3人	4人	3人	8人	8人	9人
計	516人	497人	485人	463人	474人	447人
利用率	79.4%	76.5%	74.6%	71.2%	70.2%	68.8%

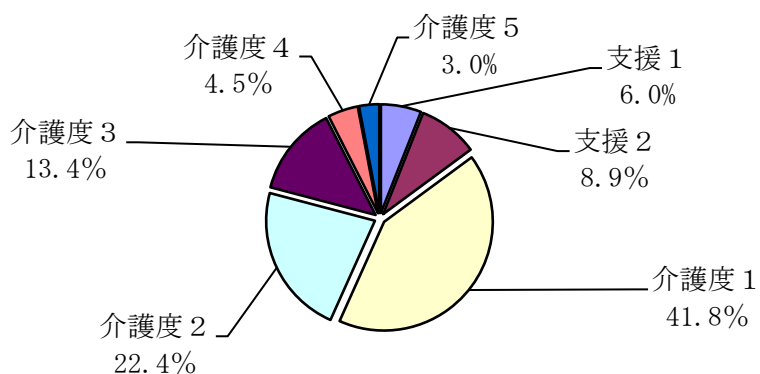
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数 a	360人	344人	333人	361人	374人	407人	4,556人
利用者数 b	80人	72人	58人	54人	55人	57人	846人
利用者数 c	12人	11人	15人	13人	11人	12人	109人
計	452人	427人	406人	428人	440人	476人	5,511人
利用率	69.5%	65.7%	67.7%	71.3%	73.3%	70.5%	71.6%

- ※ 利用者数 a は、介護給付の利用者（要介護 1 から 5）
- ※ 利用者数 b は、総合事業（国基準相当）の利用者（要支援 1・2 及び事業対象者）
- ※ 利用者数 c は、介護予防支援事業利用者（要支援 1 及び事業対象者）
- ※ 年間稼働日は、308日（総合事業も同様）
- ※ 前年度利用率は、76.0%

◆ デイサービス利用者（利用者 a～c）の要介護度（令和 5 年 3 月 31 日現在）

	支援 1	支援 2	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	計
利用者数	4人	6人	28人	15人	9人	3人	2人	67人
	6.0%	8.9%	41.8%	22.4%	13.4%	4.5%	3.0%	100.0%

※ 平均介護度 1.9 度（1.7 度） * 要支援を除く。



(イ) 総合事業（区独自基準：通所サービスA）

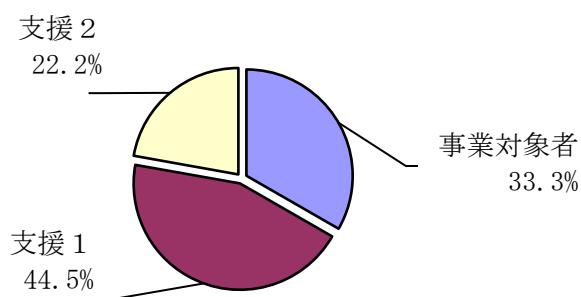
◆ 月別利用状況（定員8人／日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数d	78人	79人	94人	54人	70人	79人
利 用 率	37.5%	38.0%	45.2%	26.0%	32.4%	38.0%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数d	80人	93人	68人	70人	71人	83人	919人
利 用 率	38.5%	44.7%	35.4%	36.5%	37.0%	38.4%	37.3%

◆ デイサービス利用者（利用者d）の要介護度（令和5年3月31日現在）

	事業対象者	支援1	支援2	計
利用者数	6人	8人	4人	18人
	33.3%	44.5%	22.2%	100.0%



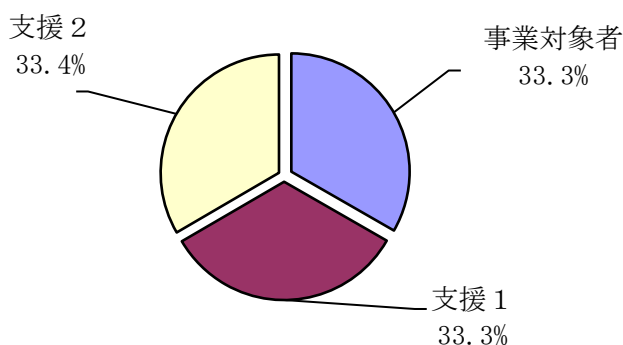
(ウ) 総合事業（通所型サービスC 短期集中リハビリトレーニング）

◆ 月別利用状況（定員10人／日）

	12月	1月	2月	計
利用者数e	34人	22人	23人	79人
利 用 率	42.5%	27.5%	28.8%	32.9%

◆ デイサービス利用者（利用者 e）の要介護度（令和5年3月31日現在）

	事業対象者	支援1	支援2	計
利用者数	2人	2人	2人	6人
	33.3%	33.3%	33.4%	100.0%



イ 介護者教室

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、屋外で行えるものを開催し、参加者は0人であった。

開催日	テーマ	参加人数
6月25日 9月24日 12月17日 3月18日	「車イスの種類と操作方法」	0人
合 計		0人

ウ デイサービス家族懇談会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とし、アンケート配布時に相談は随時受け付けている旨を記入した。

2 処遇の状況

(1) 年間行事実施状況

	行事名	実施内容	摘要
4月	誕生会 世界・日本の郷土食 午後のお茶会	お祝いと会食 鮭いくらご飯（新潟県） ケーキ、プリン	
5月	誕生会 世界・日本の郷土食 端午の節句昼食会 菖蒲湯	お祝いと会食 ポキ丼（ハワイ） 各フロアに鯉のぼりを飾り、会食	
6月	誕生会 世界・日本の郷土食 午後のお茶会	お祝いと会食 デミカツ丼（岡山県） フルーツバイキング	

7月	誕生会 世界・日本の郷土食 七夕夕食会 お盆行事(各階ベランダ)	お祝いと会食 魯肉飯(台湾) 各フロアに七夕を飾り、会食 迎え火、送り火	
8月	誕生会 世界・日本の郷土	お祝いと会食 チキン南蛮(宮崎県)	
9月	誕生会 世界・日本の郷土食 敬老会 スイーツビュッフェ	お祝いと会食 ピカテージョ(キューバ) 敬老のお祝い プチケーキ、ババロア、ゼリー	
10月	誕生会 世界・日本の郷土食 秋まつり	お祝いと会食 海鮮丼(北海道) ゲーム、模擬店	
11月	誕生会 世界・日本の郷土食 和菓子を楽しむ会 買い物サロン	お祝いと会食 えびチリ(中国) 練り切り、栗プリン	
12月	誕生会 世界・日本の郷土食 餅つき クリスマス会 ゆず湯	お祝いと会食 肉吸い(大阪) ケーキやお菓子を楽しむ	
1月	誕生会 世界・日本の郷土食 新年祝賀会 初詣	お祝いと会食 ジャンバラヤ(アメリカ) グループ毎におせち料理会食、祝賀 あやめ神社参拝	
2月	誕生会 世界・日本の郷土食 午後のお茶会	お祝いと会食 ソーキそば(沖縄) ケーキ、プリン	
3月	誕生会 世界・日本の郷土食 雛祭り お花見	お祝いと会食 牛肉のビール煮(ベルギー) フロアで雛人形を飾り、会食	

(2) クラブ活動実施状況

以下のクラブ活動の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止とした。

クラブ名	実施日等	実施内容
音楽クラブ	第4水曜日	ハーモニカ等の伴奏による合唱(唱歌・季節の歌・なつメロ等) 楽器演奏
手工芸クラブ	毎月1回	毛糸を用いた共同作品
おしゃれクラブ	毎月1回	お化粧品、マニキュア
クラブトントン	毎月3回	歌、体操、レクリエーション
クラシックコンサート	毎月1回	山口音楽教室(バイオリン、ピアノ等)

映画上映会	毎月 1 回	懐かしの邦画
アロママッサージ	毎月 1 回	ハンドマッサージ
やさしいヨガ	毎月 2 回	ヨガ

(3) ボランティアの受入れ状況

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止のため、ほぼ全面的に活動を中止とした。

(4) 実習生の受入れ状況

	[実人員]	[延人員]
① 介護福祉士	0 人	0 人
② 看護学生	9 人	9 人
③ 人事院公務員研修	0 人	0 人
④ 介護職員初任者研修	0 人	0 人
⑤ その他	0 人	0 人
計	9 人	9 人

(5) 医療体制

① 管理医勤務日数	90 日
② 従事医勤務日数	96 日
(内訳) 内科医	(30 日)
皮膚科	(12 日)
眼科	(6 日)
精神科医	(24 日)
整形外科	(24 日)
③ 歯科医口腔衛生指導日数	20 日

(6) 防災体制

	実施項目	実施内容
4 月	あやめの苑の防災対策	あやめの苑・代々木防災対策内容確認
5 月	初期消火訓練	消火器の取り扱い説明と放水訓練
6 月	避難訓練	緊急時の入居者の移動方法確認
7 月	夜間火災発生時行動訓練	夜勤体制時の火災発生行動訓練
8 月	避難訓練	すべり台 (らせんすべり台) による訓練

9月	消火訓練（コロナ感染により中止）	
10月	消火訓練	1階ダイルームの消火栓ホースによる放水訓練（未経験者対象）
11月	消火訓練（コロナ感染により中止）	
12月	施設内消防設備確認（コロナ感染により中止）	
1月	緊急時安否確認メール送受信	緊急時職員の安否確認訓練
2月	AED使用訓練	AED使用方法資料配布
3月	合同防災訓練（総合避難訓練）	代々木三、四丁目町会、地元消防団と連携して、渋谷消防署（代々木出張所）の立ち会いのもと、火災時の初期消火並びに避難誘導訓練を実施。起震車体験も実施。

3 職員配置（令和5年3月31日現在）

	施設長	課長	事務	介護支援 専門員	介護士	栄養士
正規職員	1人	3人	2人	4人	27人	1人
非正規職員					15人	
	調理	作業 療法士	理学 療法士	看護師	合計	総合計
正規職員	4人	1人	1人	7人	51人	69人
非正規職員	2人			1人	18人	

※ 施設長は、介護支援専門員1人

※ 課長は、参与（事務）、総務課長（事務）、事業課長（介護支援専門員）各1人

※ 上記のほか短時間勤務臨時職員あり（事務・介護士・看護師・調理）

4 勤務体制

職員は1か月ごとの勤務割表により、週平均40時間勤務する。

(1) 特別養護老人ホーム及びショートステイ担当職員

職種	勤務	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23											
介護士	早番							7:00	—————														15:45													
	平常							8:00	—————														16:45													
	遅番									10:15	—————														19:00											
	深遅													13:00	—————														21:45							
	夜勤	—————							7:15	—————														21:30	—————											
看護師	平常							8:30	—————														17:15													
	夜勤	—————									9:30	—————														16:30	—————									
調理員	早番				6:00	—————														14:45																
	平常							8:30	—————														17:15													
	遅番									10:45	—————														19:30											

(2) デイサービス担当職員

職種	勤務	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23										
介護士	平常							8:30	—————														17:15												
看護師	遅番									9:15	—————														18:00										

(3) その他の職員

職種	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23										
事務 介護支援専門員 栄養士 作業療法士 理学療法士								8:30	—————														17:15											

5 職員研修

職種	研修内容	延参加人数	延研修日数
管理者	生産性向上に向けた人材育成セミナー	1人	1日
介護支援専門員	東京都認定調査員現任研修、ケアプラン作成とライフ加算マネージメント、東京都介護支援専門員更新研修	15人	15日
介護士	東京都認知症介護実践者研修、リスクマネジメント研修、高齢者虐待防止、口腔ケア・排泄支援、移乗研修（トランスファーボードとスライディングシート、リフト）、人権研修、介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修	31人	31日
作業療法士	LIFEの意義と必要性、安全対策体制加算対応、機能訓練計画書の作成から訓練の展開と評価	3人	3日
事務	社会福祉法人・施設「会計実務決算」	1人	1日
全職員	今般のオミクロン株の流行を踏まえた感染拡大予防に関するオンライン研修、福祉サービスにおけるハラスメント研修会、手洗いチェック、日常記録について	120人	21日

※ 地域包括支援センターの職員研修については、別途記載

渋谷区美竹の丘・しぶやの事業報告

渋谷区美竹の丘・しぶやは、渋谷区で初めて開設された「ユニットケア」による特別養護老人ホームである。全室を入居者のプライバシーに配慮した個室とし、7～8室の個室と食事や機能訓練を行うリビングを1つの生活単位（ユニット）として、小人数の家庭的な雰囲気の中で介護を行っている。

今年度も感染の拡大防止のため、職員の定期的なPCR検査を実施するとともに、感染者が発生した場合にも、管理医・保健所等関係機関との連携の下、職員の機動的な対応により、事業運営をすることができた。

- ◆ 特別養護老人ホーム事業
- ◆ ショートステイ事業

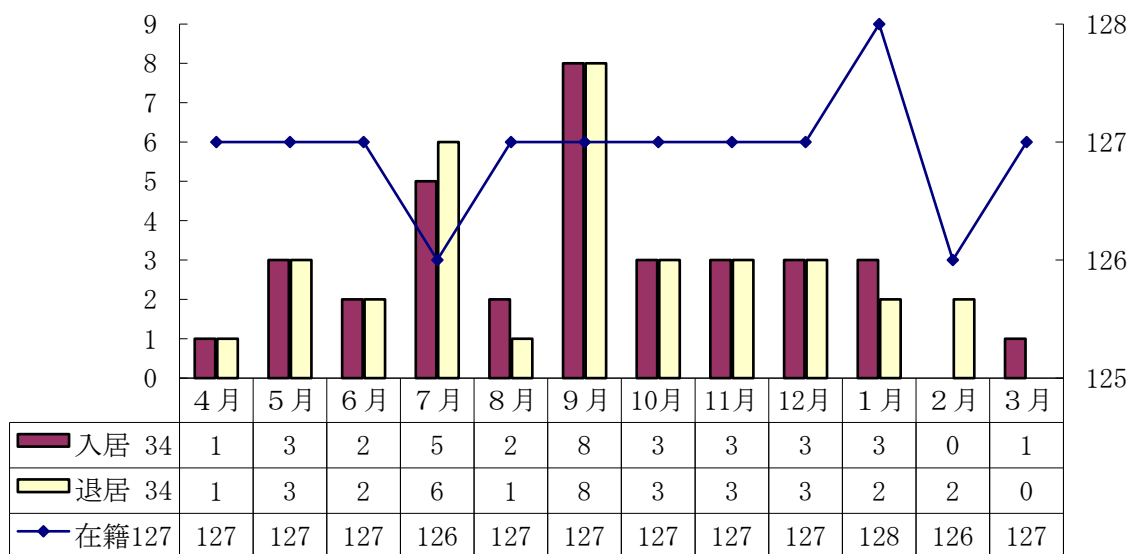
また、それぞれの事業の運営状況は以下のとおりである。

1 施設の利用状況

(1) 特別養護老人ホーム事業（定員127人）

ア 入退居の状況

（単位：人）

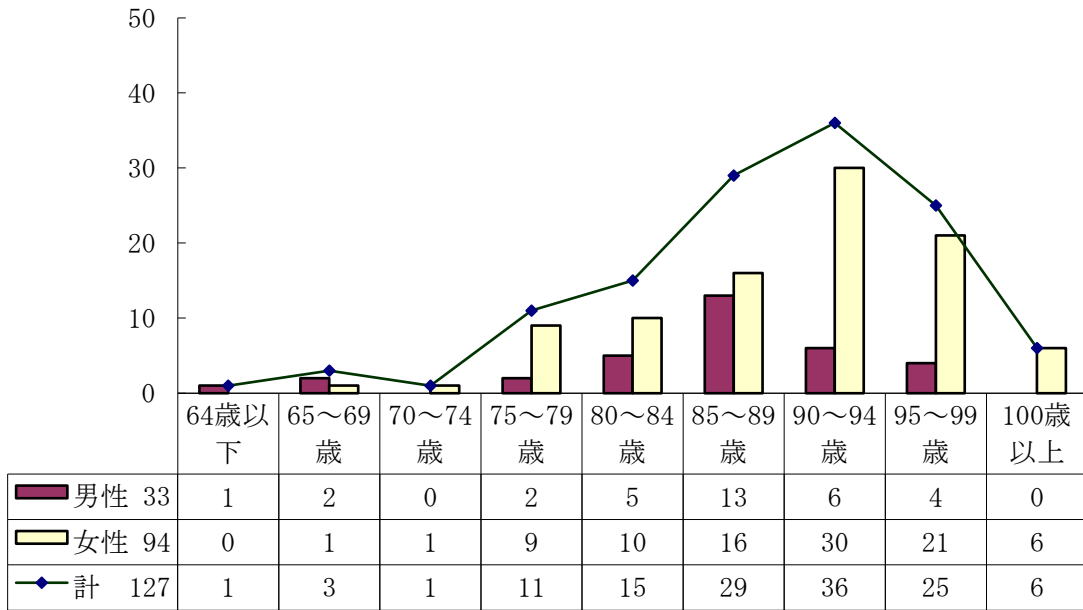


※ 平均利用率 95.1% (96.5%) ()内は前年度

※ 令和5年1月措置入所1人含む。

イ 入居者の年齢・性別（令和5年3月31日現在）

（単位：人）

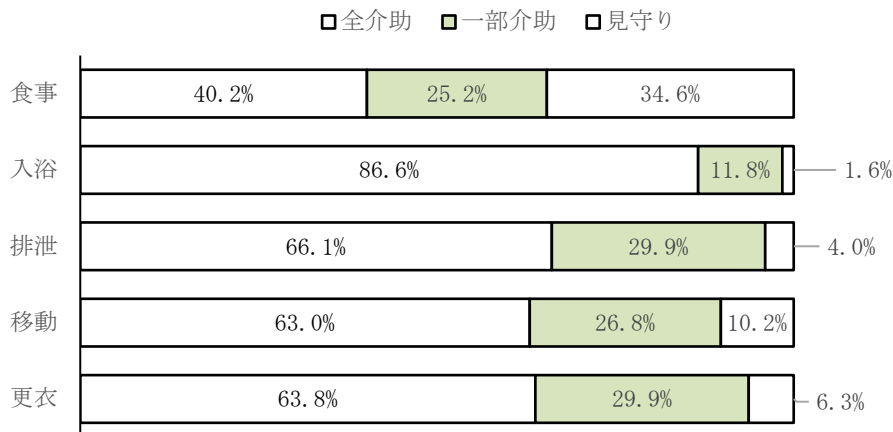


※ 平均年齢 全体88.9歳（88.5歳）男性85.3歳（84.2歳）女性90.2歳（89.8歳）

※ 最高齢者 男性97歳（103歳）女性106歳（105歳）（ ）内は前年度

ウ 入居者の介助状況（令和5年3月31日現在）

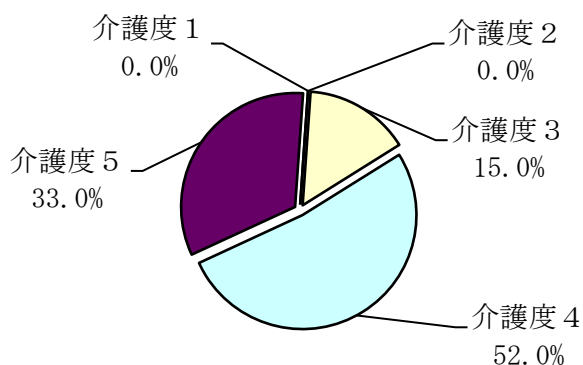
	全介助	一部介助	見守り
食 事	51人	32人	44人
入 浴	110人	15人	2人
排 泄	84人	38人	5人
移 動	80人	34人	13人
更 衣	81人	38人	8人



エ 入居者の要介護度（令和5年3月31日現在）

要介護度	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	計
利用者数	0人	0人	19人	66人	42人	127人
	0.0%	0.0%	15.0%	52.0%	33.0%	100.0%

※ 平均介護度 4.2度（4.1度） （ ）内は前年度



オ 入居者の疾病状況（重複計上）

疾患群	病名	人数
脳血管系疾患	脳梗塞、脳出血後遺症、多発性脳梗塞、慢性硬膜下血腫、アミロイドアンギオパチー	59人
悪性新生物	前立腺癌、乳癌、胃癌、子宮癌、大腸癌	15人
精神神経系疾患	認知症、うつ病、パーキンソン病、てんかん、統合失調症、神経核内封入体病、脊髄小脳変性症、小児麻痺、高次脳機能障害 脊髄損傷	94人
循環器系疾患	高血圧、狭心症、期外収縮、慢性心不全、高脂血症 心肥大、心房細動、深部静脈血栓症、うっ血性心不全	94人
呼吸器系疾患	陳旧性肺結核、喘息、気管支拡張症、気管支炎、慢性閉塞性肺疾患、肺気腫	26人
内分泌系疾患	糖尿病、脂質異常症、高脂血症、高コレステロール血症	20人
筋骨格系疾患	大腿骨頸部骨折後遺症、腰痛、変形性膝関節炎、後縦靭帯骨化症、変形性脊椎症等、廃用性症候群、骨粗鬆症、関節リウマチ、変形性股関節症	59人
消化器系疾患	消化管癌術後、胆石、肝障害、胆嚢炎、C型肝炎 人工肛門、痔瘻、脱肛、慢性胃炎	30人
眼科系疾患	白内障、緑内障、黄斑変性症	8人
泌尿器系疾患	膀胱炎、前立腺肥大、腎結石、神経因性膀胱、腎機能障害、前立腺癌	18人

皮膚科系疾患	白癬、爪白癬、老人性そう痒症、帯状疱疹、尋常性乾癬	36人
婦人科系疾患	子宮脱、不正出血、乳癌、子宮癌	6人
自己免疫疾患	シェーグレン症候群、慢性関節リウマチ	2人

(2) 短期入所（ショートステイ）事業

－短期入所生活介護事業、介護予防短期入所生活介護事業－

◆ 月別利用状況（定員28人/日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数	109人	108人	113人	95人	106人	106人
利用日数	842日	843日	828日	807日	753日	712日
平均利用日数	7.7日	7.8日	7.3日	8.5日	7.1日	6.7日

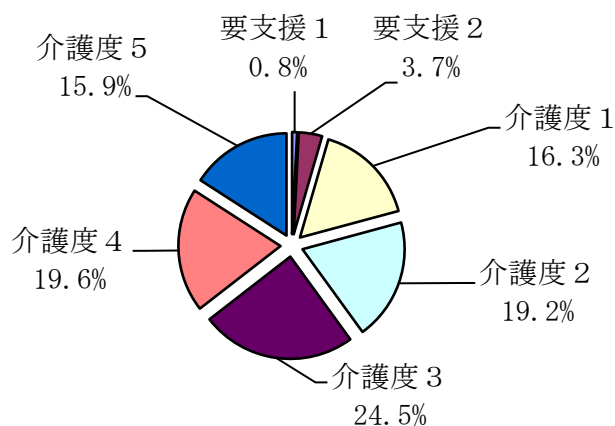
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	111人	110人	111人	107人	113人	108人	1,297人
利用日数	823日	811日	818日	759日	766日	853日	9,615日
平均利用日数	7.4日	7.4日	7.4日	7.1日	6.8日	7.9日	7.4日

※ 平均利用率 94.1% (95.3%)

◆ ショートステイ利用者の要介護度（年間・実人員）

	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	計
利用者数	2人	9人	40人	47人	60人	48人	39人	245人
	0.8%	3.7%	16.3%	19.2%	24.5%	19.6%	15.9%	100.0%

※ 平均介護度 3.0度 (3.1度) *要支援を除く。()内は前年度



2 処遇の状況

(1) 年間行事実施状況

ア 全体実施

	行事名	実施内容
9月	敬老会	各階ごとの開催とし、区長・区議会議長によるお祝いの手紙と花束等を施設長により贈呈し、記念撮影を行った。
10月	美竹まつり	3・4・5階、6・8階、7・9階に分かれて日程をずらして開催した。感染症に配慮して3密を避けた形で、模擬店やゲームコーナー、記念撮影コーナーを設置して、お祭りの雰囲気を楽しんでいただいた。
3月	春まつり	3・4・5階、6・7・8・9階に分かれて記念撮影コーナーを3か所設置して、春らしい写真を撮影した。春にちなんだお菓子を提供し、楽しんでいただいた。

イ 各ユニット実施

各ユニットでは、年間を通して次のような行事を実施した。

◆ 入居者に関するもの

誕生日会、100歳のお祝い会、工作

◆ 食に関するもの

お菓子づくり、出前、ランチ会、茶話会、かき氷、果物を楽しむ会

◆ 季節に関するもの

菖蒲湯、母の日、父の日、七夕、納涼行事、暑気払い、スイカ割り、お月見、ハロウィンパーティー、ミニ運動会、ゆず湯、クリスマス、正月行事、書初め、新年会、節分、バレンタインデー、ひな祭り

◆ 外出に関するもの

近隣の散歩と買い物（宮下公園）

(2) クラブ活動実施状況

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止のため、ほぼ全面的に活動を中止とした。以下の活動については感染予防に配慮しながら実施した。

クラブ名	実施日等	実施内容	延参加人数
園芸クラブ	3か月に1回	花苗の手入れと植え替え	10～15人
書道クラブ	月1回	書道	中止
生け花クラブ	月1回	生け花	中止

(3) ボランティアによる行事の開催状況

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止のため、ほぼ全面的に活動を中止とした。以下の活動については感染予防に配慮しながら実施した。

活動名	内容	ボランティアの延参加人数
歌唱（歌謡曲・唱歌等）	カラオケと参加者の合唱	中止
朗読	詩や絵本、紙芝居等の朗読	中止
ワンポイント・メイク及びハンドマッサージ	お化粧品と手指・腕・足等の簡単なマッサージ	中止
ヘアカット	6階美容室において、ヘアカット・シャンプー・ブローを行う	132人
動物とふれあう会	犬や猫の小動物とのふれあい	中止
傾聴（会話）	個人またはグループによる会話や傾聴	中止
舞踊リハビリ（舞リハ）	日本舞踊を取入れた主に上半身の運動	中止
折り紙	創作折り紙を楽しむ	中止
合 計		132人

(4) 施設内のイベント活動

活動名	内容	回数	延参加人数
歌唱&楽器演奏等	シャンソン・コーラス・ピアノ等の演奏、歌の披露	—	中止
保育園等との交流会	園児・児童による歌や踊りの披露等（美竹の丘保育園）	—	中止
美竹まつり、敬老会	模擬店、ゲームコーナー等の開催	2回	250人
合 計		2回	250人

(5) 医療体制

- ① 管理医勤務日数 187日
- ② 従事医勤務日数 100日
- （内訳）内科医 （40日）
- 皮膚科 （28日）
- 精神科 （24日）
- 整形外科 （24日）
- ③ 歯科医口腔衛生指導日数 20日

(6) 防災体制

	実施項目	実施内容
4月	防災研修・訓練	8階で実施、新規採用者に消火栓、消火器の設置場所を説明 場内パトロールを実施し、不適切箇所の是正を行った。
5月	合同消防訓練	3階Cユニットからの出火を想定した施設全体の消防訓練（通報、非常放送、初期消火、避難誘導等を実施） 水消火器を使用した消火訓練を実施
6月	防災研修・訓練	7階で実施。5月実施の合同消防訓練の振り返りを行った。（防火扉の位置、適正な使用方法を説明、居室内で避難する際の対応について説明も実施）
7月	防災研修・訓練	9階で実施。不適切箇所が無いのか、場内パトロールを実施し、避難通路に障害物等がないか点検を行った。また、火災の発生原因（トラッキング現象）となりうる、コンセント周りの点検を実施（清掃及び緩みのチェック）
8月	防災研修・訓練	6階で実施。免震構造の説明、消防設備の取り扱いについて説明を実施。備蓄品の保管場所の周知を実施
9月	防災研修・訓練	5階で実施。消火器、消火栓の設置場所の確認及び取り扱いについて説明を行った。消防隊員による心肺蘇生の動画鑑賞を行い、AEDの取り扱い方法について説明を行った。
10月	合同消防訓練	7階Dユニットからの出火を想定した施設全体の消防訓練（通報、非常放送、初期消火、避難誘導等を実施） 水消火器を使用した消火訓練を実施
11月	防災研修・訓練	8階で実施。10月実施の合同消防訓練の振り返りを行った。（防火扉の位置、適正な使用方法を説明、居室内で避難する際の対応について説明も実施）
12月	防災研修・訓練 夜間停電発生時の対応訓練	9階で実施。夜間停電を想定した初期対応訓練を実施。非常用電源作動時の照明の状況、停電時に使用できるコンセント位置の確認及びポータブル発電機の使用方法を説明した。
1月	防災研修・訓練	3階で実施。12月実施の合同消防訓練の振り返りを行った。（防火扉は適正に使用出来ていたか、居室内で避難する際の対応について説明） 災害時の通報訓練を実施 緊急時の安否確認訓練を実施
2月	防災研修・訓練	4階で実施。5月実施の合同消防訓練の振り返りを行った。（防火扉の位置、適正な使用方法を説明、居室内で避難する際の対応について説明も実施）
3月	防災研修・訓練	5階で実施。消火栓、消火器の設置場所を説明。消防隊員による消火器、消火栓の使用法の動画鑑賞を行い、AEDの取り扱い方法について説明を行った。

3 職員配置（令和5年3月31日現在）

	施設長	課長	事務	介護支援 専門員	介護士	
正規職員	1人	3人	3人	6人	59人	
非正規職員					23人	
	栄養士	作業 療法士	理学 療法士	看護師	合計	総合計
正規職員	1人	1人	1人	9人	84人	108人
非正規職員				1人	24人	

※ 施設長は、事務1人

※ 課長は、副施設長（介護士）、総務課長（事務）、事業課長（介護士）各1人

※ 正規職員のうち介護士2人、看護師1人が育休取得中

※ 上記のほかに短時間勤務職員あり（事務・介護士・看護師）

4 勤務体制

職員は1か月ごとの勤務割表により、週平均40時間勤務する。

(1) 介護士

職種	勤務	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
介護士	早番1					7:00																			
	早番2							8:00																	
	日勤1									9:15															
	日勤2										10:15														
	遅番1											11:15													
	遅番2												12:15												
	遅番3													13:15											
	夜勤																								

(2) 看護師

職種	勤務	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
看護師	日勤									8:30															
	夜勤																								

(3) その他

職種	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
事務 介護支援専門員 栄養士 作業療法士 理学療法士								8:30											17:15					

5 職員研修

福祉・保健・医療の連携を図るため、介護に関する研修等に参加し、自己研鑽に努めた。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、小人数での実施や書面での研修を行った。

職種	研修内容	延参加人数	延研修日数
介護支援専門員	虐待防止研修	1人	1日
介護士	ユニットリーダー研修、東京都認知症実践者研修、スライディングボード・スライディングシートの活用、たんの吸引等の実施の為の研修	30人	45日
看護師	指導看護師講習会	8人	8日
事務	介護報酬請求事務に関わる研修会（応用編）	2人	2日
栄養士	多職種で学ぶ認知症の方への食支援	1人	1日
全職員	施設における困難事例への対応方法、ノロ対応ユニット研修、感染症対策、認知症ケアを考える、適切なケアを考える、移乗事故防止、高齢者虐待の防止、事故防止（骨について）、緊急時救急対応、救命講習、身体拘束適正化研修、ポジショニング研修、サービスマナー研修、介護記録について、ICT機器研修、リスクマネジメント研修、福祉用具について、倫理研修、手指消毒（感染防止）について	300人	36日

母子生活支援施設の事業報告

1 事業運営に関する報告

母子生活支援施設では、児童福祉法内施設として「母と子が安心できる場」の実現を基本理念に掲げ、今年度も「母の自立支援」「子どもの育ちへの支援」「親子関係を育むための支援」「施設退居後の生活の広がりへの支援」「児童虐待防止」を重点的に取り組んだ。

事業運営にあたっては、ファミリーソーシャルワークとケアワークの手法により、母と子が営む家庭生活を「丸ごと」側面的に支援をする姿勢で取り組んだ。

2 施設の利用状況（令和5年3月31日現在）

定員	入居世帯数	入居児童数	入居者合計	母親平均年齢
16世帯	13世帯	21人	34人	41歳

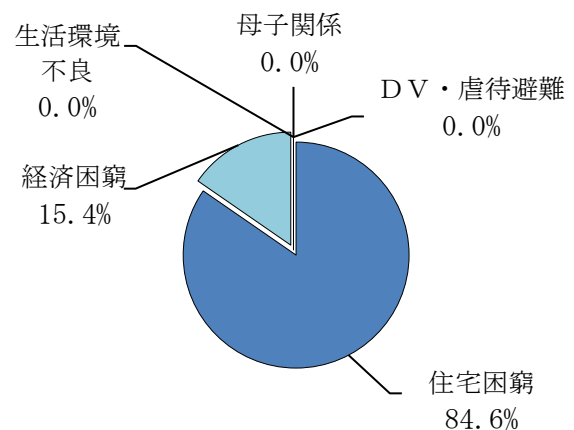
◆ 入居児童の内訳（令和5年3月31日現在）

乳幼児	小学校低学年	小学校高学年	中学生	高校生	短大生/大学生/専門学校生	合計
6人	5人	3人	4人	3人	0人	21人

◆ 世帯の内訳

	世帯数
2人世帯	7世帯
3人世帯	4世帯
4人世帯	2世帯
5人世帯	0世帯
6人世帯	0世帯
計	13世帯

◆ 入居理由



◆ 入・退居状況

	世帯数	人数（うち児童数）	退居世帯の平均利用期間
入居	6世帯	15人（9人）	2年5か月
退居	4世帯	12人（8人）	
<退居先> 都営住宅：3世帯、公営住宅：0世帯、民間：1世帯 その他：0世帯			

[月別入退居の動向]（月末世帯数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居世帯数	1	0	1	2	0	0	0	1	0	1	0	0
入居人数	2	0	2	4	0	0	0	3	0	4	0	0
退居世帯数	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
退居人数	0	2	4	0	0	0	0	0	0	2	0	4
総世帯数	12	11	11	13	13	13	13	14	14	14	14	13
在所人数	33	31	29	33	33	33	33	36	36	38	38	34

3 支援の状況

(1) 子どもの育ちへの支援

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居児童	遊び支援	延人数	86	58	101	84	90	76	136	142	134	104	126	188	1,325
		時間	96	66	156	117	230	77	272	337	283	219	275	572	2,700
	学習支援	延人数	10	16	72	27	54	39	41	68	48	49	77	77	578
		時間	7	12	77	34	58	37	37	95	64	55	78	58	612
退居児童	遊び支援	延人数	14	17	42	32	34	15	36	38	56	82	26	48	440
		時間	32	45	94	61	66	29	54	54	61	95	36	100	727
	学習支援	延人数	24	22	63	25	27	37	38	55	32	64	51	45	483
		時間	32	29	96	43	57	70	61	100	55	108	97	64	812

ア 遊び支援

児童の遊び支援は、子どもの様子確認や要保護児童に関わる貴重な時間であり、遊びを通して楽しさを実感してもらった。コロナ禍で遊び時間の短縮や3密を避ける遊びなどの制限があったものの、心の安定を育む時間として有効であった。

イ 学習支援

学習支援は平日の17時から19時、長期休みは10時から11時に宿題を中心

にした学習の習慣付けや学力の向上・補完を行った。また、今年度も継続事業である生活福祉課の「学習応援事業」として、入居児童及び近隣の退居児童を対象に学習会を実施した。年間48回の開催で、延べ人数685人の参加人数があり、昨年度より大幅に参加人数が増え、大きな学力向上に繋がるとともに、参加世帯からも大変好評を得て、参加児童も定着していった。その他、学習応援事業の一環としてイベント（折り染めうちわ作り、アクアリウム作り）を年2回実施した。継続した学習支援では、NPO法人・キッズドアによる「イングリッシュ・ドライブ」も例年よりコロナ禍で実施回数は年14回と減少しつつも、英語を楽しみながら学ぶという勉強会であった。

昨年度と同様に国の特別育成費として、対象となる児童がいる世帯に補習費として塾代を助成した。

(2) 安心した生活をするための支援

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
入居児童	補助保育	延人数	9	5	4	5	12	9	9	14	8	11	11	12	109
		時間	17	4	4	7	23	24	15	16	12	7	10	13	152
	病児保育	延人数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
		時間	0	0	0	0	0	0	0	4	2	0	0	0	6
	登降園代行	延人数	0	0	0	0	0	1	6	1	4	9	7	10	38

母と子が安全で安心して暮らせる「生活の場」の提供を第一の目標とし、以下の支援を行った。

ア 生活の場の提供

近年、施設建物老朽化に伴い、水回りや電気設備等の修繕工事が増えてきている。今年度も中・長期計画の一環として、居室の混合水栓交換工事、屋外の蛍光灯照明器具からLED交換工事など居住環境の整備の修繕を実施し、節電対策を含めた居住環境の保全に努めた。

イ 就労支援として、就労の継続のために保育園や小学校の送迎支援を行った。

また、家事や休息など母の必要に応じリフレッシュ保育を行い、母親の育児負担の軽減を図り、子どもとの生活時間が確保できるように取り組んだ。

ウ 同行支援

入居者の様々な生活課題を解決するために、社会資源の紹介や情報提供をし、必要に応じて専門機関の紹介とその関係先への同行支援を行った。

◆ 今年度に同行した専門機関等

○区役所 ○保健相談所 ○病院 ○子ども家庭支援センター

(3) 安定した心身を回復するための支援

[心理担当職員の実績]

		延人数（人）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子ども対応	場面観察	遊び	2	5	13	7	8	5	7	5	7	7	6	3	75
		補助保育	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
母親対応	面接		1	1	1	0	1	1	1	0	1	2	1	3	13
	軽面接		0	2	2	0	2	2	0	2	5	1	2	4	22
専門的助言	ケース会議参加		1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	11

心理担当職員が月8日勤務している。コロナ禍で緊急事態宣言やまん延防止措置が適用されたため学習室の利用制限があったものの、子どもに対しての遊びや学習を通じた場面観察は昨年同様の人数だった。相談を希望する母親には引き続きアクリル板を設置する等の感染防止対策を施しながら面談を実施した。立ち話を中心とする軽面接が増加し、短時間のチャンスを有効活用し支援に繋げている。

また、ケース会議では心理学の専門的な視点で職員に助言することにより入居者の個性に即した支援に繋がった。

(4) 自立に向けての支援

ソーシャルワークの手法による自立支援を以下のプロセスで実施した。

入所前面談⇒入所時面談自立支援計画策定⇒6月合同面接自立支援計画策定⇒11月面接自立支援計画策定⇒見直しのサイクルで、入居者と共に自立支援計画を立て、自立に向けて支援した。小学生以上の子に対しても入所後に面談を持ち、子どもの意見を尊重しながら目標シートに記入してもらい、児童支援計画を策定し支援した。

(5) 年間行事の実施状況

母や子の社会性を養い、親子の絆を深め、心身のリフレッシュを図ることを目的として各行事を行い、児童の健全育成を図った。昨年度コロナ禍で予定していた遠足行事が中止となり、今年度は、出来るだけ少人数で、幼児対象の遠足、小学生対象の遠足、中高校生対象のボウリング大会、コロナ感染が落ち着いたところで全体遠足を計画して実施した。例年実施していた会食行事は自粛した。感染防止の観点から入居者同士の接触を減らし、3密を避けるなど十分に配慮しながら、例年と違った行事形態に変更した。児童対象行事は、日本の伝統的な歳時や四季を味わえる企画を取り入れ、「コロナ禍でも入居者全員が楽しめる時間の提供」をテーマに心がけた。

また、母親向けの行事では、日常生活から開放される時間の提供を目的とし、十分な感染対策を講じた上で、講師を招いての「クリスマスツリー作り」や「メイク講座」を実施した。

	全体行事	母親対象行事	児童対象行事	その他
4月			入学・進級を祝う会(入学お祝い品配布) 渋谷区民春季卓球大会 子ども会	防災訓練 定期健診(母親)
5月		全員懇談会	子どもの日・母の日を祝う会(子どもから手作り写真立てプレゼント)	防災訓練
6月		定期面談(合同)		防災訓練 キッズ美容室 居室点検
7月		教養講座:「メイク講座」	七夕会(縁日のみ実施)	防災訓練
8月				防災訓練
9月			お月見(おはぎ配布)	防災訓練
10月	遠足「鉄道博物館」	全員懇談会		防災訓練 キッズ美容室 定期健診(母子)
11月	遠足「昭和記念公園」	定期面談 教養講座: 「クリスマスツリー」	勤労感謝の日(子どもから母へ手作りエコバッグをプレゼント) 皆既月食天体観測会 子ども会	消防署職員の指導による救命訓練
12月	クリスマス会 遠足「ボウリング大会」			防災訓練 キッズ美容室 居室点検
1月	新春顔合わせ会(福袋配布)			防災訓練
2月		全員懇談会	節分(豆まき、恵方巻配布、節分工作)	防災訓練
3月	お餅つき会(中止) 遠足「しながわ水族館」		ひな祭り(ちらし寿司配布、ひな祭り工作) 引率レク「科学技術館」	防災訓練 キッズ美容室

(6) 退居世帯に対するアフターケア

ア 母親支援

退居世帯には、在所中に退居時面談を実施し、退居後の生活についての支援内容

を本人とともに検討しアフターケアとして取り組んだ。今年度も母から子ども対応への相談が多くあり、来訪相談や家庭訪問・電話対応などできる範囲で対応した。退居後に問題が発生した世帯には職員間で再検討し、切れ目のない支援を目指した。児童対象に実施している「イングリッシュ・ドライブ」「学習応援塾」「キッズ美容室」などへの参加を呼びかけ、退居世帯の状況も把握することができた。その他に、奨学金制度や都営住宅の募集などの情報提供、親子の遊び場所、退居児童の学習場所など、昨年以上にアフターケアで施設を利用する機会が増加した。高校受験を控えた外国籍の母親に対してフォローアップをし、無事合格に至った。

[退居者の支援の実績]

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	延人数（人）	14	11	22	11	5	12	15	17	11	22	19	14	173
	うち心理担当職員対応（人）	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	うち心理担当職員対応（時間・分）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電話（延人数）		23	21	29	26	8	11	22	16	18	22	21	28	245

イ 子ども支援

退居児童も入居児童と区別することなく支援をした。児童対象に実施している「イングリッシュ・ドライブ」「学習応援塾」などへの参加を呼びかけ、参加する児童も多かった。施設を利用する退居児童も増加し、年々定着してきている。その他に、児童の居場所としての利用や要保護児童に対するアプローチも継続して行い一定の成果を上げた。

(7) 安全・防災管理

災害に対しては、防災訓練を毎月実施し、11月には消防署職員からの実地指導を受けた。

今年度も、飲料水や食料など備蓄品も増量して、災害対策をより一層強化した。入居世帯毎にも緊急持ち出し袋を配置し、有事に備えてもらっている。

(8) 関係機関と地域の理解・協力

支援関係者との協働ネットワークの構築の一つとして、渋谷区要保護児童対策地域協議会に参加した。また、地域の主任児童委員や民生委員との協力体制を強化するため、懇談の機会を設け関係機関との連携を図った。地域交流行事「お餅つき会」は、昨年度に引き続きコロナ禍で開催は中止となったが、入退所児童と職員で渋谷区民春

季卓球大会に参加し、地域の方々と交流を図った。

(9) その他

ア ボランティアの受入れ

ボランティアの協力は、事業の質の向上や入居者の安全の確保のために大変効果的であった。今年度もしづやボランティアセンター、実習受入れ校などに依頼した。協力者には事前に施設の機能や事業内容についての説明を行い、継続的な参加も得られた。

学習支援ボランティアではNPO法人・キッズドアの協力により小学生から高校生の児童を対象とした「イングリッシュ・ドライブ」の実施が定着し、学習指導ボランティアと受講生との交流が深まった。児童にとって、家族以外の社会人との交流の機会は、学習効果とは別に大変意義深いものであった。その他、「キッズ美容室」を実施するにあたって、昨年と同様にカットボランティアにも協力をしてもらい、入退居者には大好評だった。

コロナ禍で生活困窮している世帯に対し、昨年に引き続き生活福祉課を通じ「フードバンク渋谷」より定期的な食料品の無償提供があった。

また、施設行事に母親が安心して参加できるような行事開催時の補助保育についても、ボランティアの協力を得られた。

	学習指導	教養指導	行事・保育	施設整備	合計
延人数	49人	12人	1人	0人	62人

イ 実習生の受入れ

社会福祉人材の育成のため、保育士実習生の受入れを行った。

保育士養成校：7校

社会福祉士養成校：1校

実習生：9人

実習生：1人

延実習期間：71日間

延実習期間：3日間

4 職員配置（令和5年3月31日現在）

	施設長	母子支援員	少年指導員	合計	総合計
正規職員	1人	3人	1人	5人	6人
非正規職員		1人		1人	

※ 施設長は、母子支援員1人

※ 上記のほか短時間勤務臨時職員あり（心理担当職員・少年指導員）

5 勤務体制

職員は1か月毎の勤務割表により、週平均40時間勤務する。

	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
平日	7:30		—————											16:15				
	9:00		—————											17:45				
	9:30		—————											18:15				
	10:15		—————											19:00				
	11:15		—————											20:00				
土日	8:30		—————											17:15				

※ 祝祭日・年末年始は休日である。(ただし、5月4日・12月30日・1月2日は勤務した。)

※ 夜間は警備員を配置している。

6 職員研修

職種	研修内容
施設長	<ul style="list-style-type: none"> ・東京防災救命協会：上級救命再講習 ・事業団本部：ハラスメント防止
母子支援員	<ul style="list-style-type: none"> ・全国母子生活支援施設協議会：研究大会・職員研修会 ・東京都社会福祉協議会：キャリアパス「管理職員研修」 メンタルヘルス ・母子福祉部会：新任研修・合同研修 ・母子福祉部会従事者会：研修会 ・児童女性福祉連絡会：事例検討会 ・ウィメンズプラザ：相談員研修 ・地域生活支援センター：8050問題 ・事業団本部：ハラスメント防止 ・東京防災救命協会：上級救命再講習
少年指導員	<ul style="list-style-type: none"> ・全国母子生活支援施設協議会：研究大会・職員研修会 ・東京防災救命協会：上級救命再講習

7 情報公開

今年度は児童福祉法で3年毎に受審することが定められている第三者評価を受審した。その結果は、新年度の初回に開催する全員懇談会にて入居者へ報告する。また、インターネットにて、常時閲覧可能な状態に公開する。

8 その他

今年度は、2つの団体から寄付金やPCタブレット端末5台を頂戴した。寄付金では電動ドラムや子ども用のおもちゃなど、入居者に還元できる物品を購入した。

渋谷区生活実習所つばさの事業報告

1 事業運営に関する報告

生活実習所つばさは、障害者総合支援法に基づき設置された生活介護施設である。施設の設置目的に従い、障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の理念により利用者が地域生活を自立的に営めるように配慮して運営した。

利用契約した障がい者に対して、個別支援計画のもと年間事業計画を立案し四季折々の行事とアート活動及び生産活動を通じて豊かな日常生活支援を実施した。

運営に当たっては、次の基本理念に従い事業を展開した。

- (1) 共に生きる社会の一員として利用者の意思と人格を尊重し、自立した個人としての人権を守る。
- (2) 地域で豊かな社会生活を送るために必要とするサービスを提供する。
- (3) 地域に親しまれる開かれた施設づくりを目指す。

2 利用定員 20人

3 事業実施状況

(1) 施設の利用状況（令和5年3月31日現在）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
在籍者数	20人	20人	20人	20人	20人	20人	19人
支援日数	20日	19日	22日	20日	22日	20日	20日
延出席者	327人	304人	358人	323人	343人	319人	318人
出席率%	81.8%	80.0%	81.4%	80.8%	78.0%	79.8%	83.7%
送迎バス	19人	19人	19人	19人	19人	19人	18人

	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
在籍者数	19人	19人	19人	19人	19人	平均在籍者数	20人
支援日数	20日	20日	18日	17日	22日	支援日数計	240日
延利用者	325人	325人	283人	259人	359人	延出席者数	3,843人
出席率%	85.5%	85.5%	82.7%	80.2%	85.9%	平均出席率	82.1%
送迎バス	18人	18人	18人	18人	18人	平均乗車人数	19人

※ 男性利用者1人区内生活介護事業所へ移籍（9月5日付）、女性利用者1人が長期療養中。

※ 新型コロナウイルス感染症による利用自粛と保健所の指導による3日間の休業を実施した。

※ 休業日は、土曜日及び日曜日と国民の祝祭日、年末年始（12月29日から1月3日）

(2) 利用者の年齢と性別（令和5年3月31日現在）

	～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳	35歳～39歳	40歳～	合計	平均
男性	1人	2人	2人	3人	0人	2人	10人	34.9歳
女性	1人	2人	1人	0人	2人	3人	9人	33.6歳
合計	2人	4人	3人	3人	2人	5人	19人	34.3歳

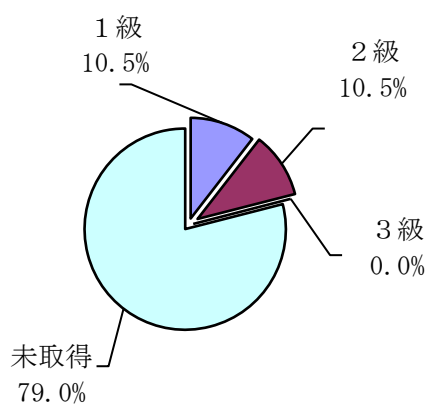
(3) 利用者の障害程度（令和5年3月31日現在）

障害支援区分

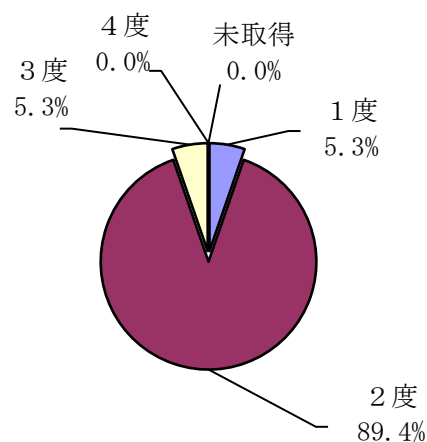
	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	合計
男性	4人	6人	0人	0人	0人	0人	10人
女性	3人	3人	3人	0人	0人	0人	9人
合計	7人	9人	3人	0人	0人	0人	19人

区分	身体障害者手帳				合計	
	1級	2級	3級	未取得		
愛の手帳	1度	0人	0人	0人	1人	1人
	2度	1人	2人	0人	14人	17人
	3度	1人	0人	0人	0人	1人
	4度	0人	0人	0人	0人	0人
	未取得	0人	0人	0人	0人	0人
合計	2人	2人	0人	15人	19人	

身体障害者手帳取得状況



愛の手帳取得状況



(4) 入所前の状況（令和5年3月31日現在）

学校在学	他の福祉施設	在宅	合計
特別支援学校			
16人	3人	0人	19人

(5) 年間行事等実施状況 ※ PT：理学療法士、ST：言語聴覚士、運動：ヨガ

月別	行事（実施日）	講師プログラム	安全衛生
4月	誕生会（14日）	機織り、音楽、機能訓練 運動、創作、PT	内科・精神科検診 検便
5月	誕生会（26日）	機織り、運動、PT、創作	内科・精神科検診
6月	梅雨のお茶会（23日） バスハイク（6・7・9・24日）	機織り、運動、機能訓練 音楽、創作、PT	内科・精神科検診
7月	七夕・浴衣会（6日） 誕生会（14日） バスハイク（5・19日）	機織り、運動、音楽 創作、PT	内科・精神科検診
8月	誕生会（12日） バスハイク（2・16日）	音楽、機織り、機能訓練 運動、創作、PT	内科・定期健康診断 新型コロナウイルスワクチン 接種
9月	誕生会（8日） バスハイク （6・9・20・22日）	音楽、運動、機織り 創作、PT	内科・精神科検診
10月	誕生会（13日） バスハイク（4・18日） つばさまつり（29日）	機織り、運動、機能訓練、 音楽、創作、PT	内科・精神科検診 検便、歯科検診
11月	バスハイク（1・15日） 誕生会（22日） 渋谷区障害者連合運動会 （23・祝日）	音楽、運動、機織り 創作、PT、ST	内科・精神科検診 インフルエンザ予防接種
12月	バスハイク（6日） 誕生会（8日） クリスマス会（23日）	音楽、運動、創作、ST 機織り、機能訓練、PT	内科・精神科検診 新型コロナウイルスワクチン 接種
1月	新年を祝う会（12日） バスハイク（5・17日）	音楽、運動、機織り 創作、PT、ST	内科・精神科検診
2月	ハッピーバレンタイン（13日） 節分（24日） バスハイク（7・12日）	音楽、運動、機能訓練 機織り、創作、PT、ST	内科・精神科検診
3月	誕生会（9日） バスハイク（7・14日） お花見（29日） 納め会（30日）	音楽、運動、機織り 創作、PT、ST	内科・精神科検診

- ※ 内科検診と精神科検診、PT及びSTの訓練指導は、定期的実施した。
- ※ 新型コロナウイルスワクチン接種（1～5回目）及びインフルエンザ予防接種を保健所、医師会、嘱託医の連携により施設内で実施した。
- ※ 毎月2回つばさパンの納品を兼ねたこども園経由でのバスハイクを実施した。
- ※ 行事と講師プログラムは、五感を使う豊かな日中活動の企画運営に努めた。

(6) 活動の実施状況

本人、家族、代理人、関係機関との文書交換と面談、電話等による綿密な調整により年度初めに個別支援計画を策定し、半年後のモニタリングと家族等への確認と同意により見直しをすることで、利用者の特性に適応した日中活動を提供した。

項目	内容
健康に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断を実施した。 ・歯科検診を実施した（定期的な歯科通院困難者を対象）。 ・内科医、精神科医による検診を月1回実施した。 ・新型コロナワクチン接種及びインフルエンザ予防接種を施設内で実施した。 ・昼食時の服薬管理と服用支援を行った。 ・毎月1回の体重測定を行った。 ・栄養士が栄養相談と嗜好調査を実施して、家庭での食事状況と本人と家族からの希望を把握し給食支援に反映した。 ・言語聴覚士による食形態の確認や口腔機能改善の取り組みを実施した。 ・理学療法士による身体機能維持に向けての助言・指導の充実を図った。 ・リンパマッサージや血行促進のための足湯等を必要な利用者を実施した。
日常生活に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝利用者の身体機能に応じた「つばさ体操（オリジナル）」を実施した。 ・日常生活動作機能の維持向上のために機能訓練とストレッチ体操に取り組んだ。 ・食事、排泄、着脱衣等の生活動作の介助、支援を適切に行った。
コミュニケーション・対人関係に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活における基本的な約束事（順番を待つ・守る、自他の所有物の区別等）を理解し行動できるように支援した。 ・個人の特性を大事にしながら「みんなの中の一人」としての行動が出来るように支援を工夫した。 ・感情のコントロール、自傷や他害行為の減弱に向けての支援に努めた。 ・コミュニケーション・ツールとして、マカトンサインや写真などを活用した。
日中活動・社会参加に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・ビーズ、機織り、和紙、創作活動を通じて楽しみながら、集中力や達成感を得られるように配慮ある支援をした。 ・製パン活動では、一般販売と区内こども園へアレルギー対応として納品した。3月には、近隣の保育園で卒園式の記念品として提供する機会を得た。 ・「つばさまつり」において製品を販売し、収益を支給金として利用者に還元した。 ・音楽療法等では、発散による情緒的安定と自己表現やコミュニケーションを楽しむなどの社会性が身につく活動を取り入れた。 ・講師（月1回程度）の指導による皆で参加する活動と、利用者の特性を活かした個別の活動をバランスよく提供した。 ・プール活動は中止し、それに代わる運動プログラムの充実に取り組んだ。 ・利用者個人の体力や体調に合わせて、外気浴から2km程度のウォーキングを計画的に実施した。 ・年間計画にある行事を全利用者が楽しめるように工夫して提供した。
生活基盤・家族支援に関する領域	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への昼食サービスを提供した。 ・送迎バスによる送迎サービスを実施した。 ・緊急一時保護施設や短期入所施設の利用時の送迎バスサービスを実施した。 ・家族が安心できるように個別面談を実施し、同意の上で保護施設や居宅介護事業所との綿密な連絡を図り、利用者の健康や安全、情緒の安定に配慮した。 ・日常的に家族への「お知らせ」の配布と、電話等での綿密な連携を実施した。

4 ボランティア及び実習生の受入れ

(1) ボランティア

地域高齢者の昼食提供を含めたボランティアの受入れと、温水プール一般開放での水

泳指導ボランティア等地域区民との交流活動は、感染症予防のため中止とした。

(2) 実習生

人材育成に寄与することを目的に実施していた教員免許、公認心理師等の資格取得のための演習・実習は感染症予防のため中止となったが、保育士資格取得、地域生活移行、中学生職場見学、移動支援従事者養成講座研修は、感染対策の上受入れた。

実習種別	中学生見学	地域生活移行のための実習	保育士資格取得実習	区移動支援従事者養成講座研修	福祉人材確保のための見学	合計
延人数	1人	1人	1人	8人	5人	16人
延べ日数	1日	3日	12日	1日	各1日×5	22日

5 職員研修

(1) 職員育成のための外部オンライン研修

「強度行動障がい支援アドバンス研修」「虐待事案から学ぶ虐待防止」「障害者支援施設等における高齢・重度化、強度行動障害への対応を考える」「新型コロナウイルス感染症防止対策のための専門的相談・支援事業」「栄養管理指導：災害時の備え」等をオンライン配信研修で視聴・受講し、受講職員による全職員対象の伝達研修を実施した。

(2) 虐待防止及び合理的配慮に関する所内伝達研修

障害者虐待防止法に関する研修は、外部研修を受講した職員が全職員を対象に所内伝達研修し、合理的配慮を具体的に言語化して伝え合うスキルの獲得を目指した。

(3) 感染症及び震災・大規模災害に関する事業継続計画（BCP）に関する研修

感染症対応マニュアル及び震災・大規模災害対応マニュアルを見直し、事業継続計画（BCP）による危機体制に関して事業所内情報共有を図った。

6 施設管理に関する報告

(1) 建物・設備等の維持管理

電気関係と水周りの老朽化による取替えと整備が必要な一年であった。非常時誘導灯ランプのバッテリー交換、食堂の照明器具の取替え、更衣室電灯スイッチの陥没修理等と厨房の水栓取替え、トイレ手洗い器自動水栓の修理、洗浄管の水漏れのためトイレフラッシュバルブの交換等を行った。また、網戸マグネットクラッチの老朽化、戸棚の扉が外れて落下するなど建具の不具合も多発した。

利用者の安全確保のために毎日使用するテーブルと椅子の点検・修理を実施した。

(2) 防災体制

消防設備・器具の定期点検及び防災教育の徹底を図るために、年間防災計画に基づく避難訓練を行った。防災会議を年3回開催した。

グループ活動で外出している際に、災害（地震）が起こった場合を想定しての通報訓練及び避難場所からのバス乗車訓練も取り入れた。タタメット、防災頭巾、寝袋等の防災用具の使用方法を利用者と職員の全員が体験を通して確認をした。

実施月	訓練実施日	内容
4月	11日 27日	避難訓練（地震想定） 防災備蓄を使用した給食（1回）
6月	27日	避難訓練（火災想定）
8月	避難訓練1日 災害用通報31日	避難訓練（地震想定） 伝言ダイヤル（家族向け）
9月	通報1・2日 16日 14・28日	伝言ダイヤル（家庭向け） 外出時（散歩等）通報訓練 防災備蓄を使用した給食（2回）
11月	18日	避難訓練・バス乗込み訓練（火災想定）
2月	6日	避難訓練（火災想定）

(3) 災害時要援護者対策二次避難所としての整備

要援護者に対する二次避難所としての環境整備等を防災課及び障がい者福祉課と連携して検討・準備を進めた。

7 職員配置（令和5年3月31日現在）

	施設長	事務	生活支援員	栄養士
正規職員	1人	1人	6人	
非正規職員			3人	1人
	看護師	合計	総合計	
正規職員		8人	13人	
非正規職員	1人	5人		

※ 生活支援員のうち正規職員1人は、サービス管理責任者

※ 生活支援員のうち正規職員1人が、病気休職中

※ 上記のほかに短時間勤務臨時職員あり（生活支援員・調理員）

8 勤務体制

勤務体制は、午前8時30分から午後5時15分までである。

渋谷区立幡ヶ谷授産場の事業報告

I 幡ヶ谷授産場

1 事業運営に関する報告

幡ヶ谷授産場は、社会福祉法に基づき設置された授産施設である。施設の設置主旨に従い、高齢者や低所得者に対して仕事と場所を提供し、安全かつ効率的に作業ができるように指導した。このことを通して、利用者の生活の安定と生きがいを得られるように配慮して運営した。

また、作業に関しては、次のような点に留意した。

- (1) 危険性、有害性、不快感がなく、安全であること
- (2) 作業内容が複雑でなく短時間で習得できること
- (3) 作業内容に含まれている個人情報等の漏洩を防止すること
- (4) 作業が肉体的に過重な負担とならないこと

2 利用定員

◆ 場内作業利用定員 30人

3 利用者の内訳（令和5年3月31日現在）

利用資格	簡易作業		
	場内	居宅	計
60歳以上の者	17人	—	17人
(うち生活保護受給者)	(0人)	—	(0人)
低所得者	0人	—	0人
(うち心身障害者)	(1人)	—	(1人)
計	17人	—	17人

4 作業状況（令和5年3月31日現在）

作業種別	場内			居宅			計		
	在籍人数	延実働人数	年間工賃支払額	在籍人数	延実働人数	年間工賃支払額	在籍人数	延実働人員	年間工賃支払額
簡易作業	17人	234人	12,370,582円	0人	0人	0円	17人	234人	12,370,582円

5 防災体制

消防計画に基づき、渋谷区立幡ヶ谷のぞみ作業所と連携し、総合防災訓練を行った。

6 職員配置（令和5年3月31日現在）

	施設長	事務	職業指導員	合計	総合計
正規職員	1人	1人	2人	4人	7人
非正規職員			3人	3人	

7 勤務体制

職員の勤務時間は、午前8時30分から午後5時15分までである。

8 福利厚生

(1) 嘱託医による健康相談

(2) バス旅行によるレクリエーション

10月に実施予定をしていたが、新型コロナウイルス感染症防止のため中止した。

II 幡ヶ谷のぞみ作業所

1 事業運営に関する報告

幡ヶ谷のぞみ作業所は知的及び身体障がい者を対象とした「障害者総合支援法」に基づく指定障害福祉サービス事業所として、就労継続支援B型事業を行っている。

利用契約をした障がい者の方に、就労機会を提供するとともに、生産活動及びその他の活動の提供を通じて、地域で円滑な社会生活を営むことができるよう支援を行っている。

2 利用定員

20人

3 利用状況

(1) 利用者の年齢と性別（令和5年3月31日現在）

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	合計	平均
男性	2人	1人	7人	1人	0人	0人	11人	40.5歳
女性	2人	2人	2人	0人	1人	0人	7人	38.1歳
計	4人	3人	9人	1人	1人	0人	18人	39.6歳

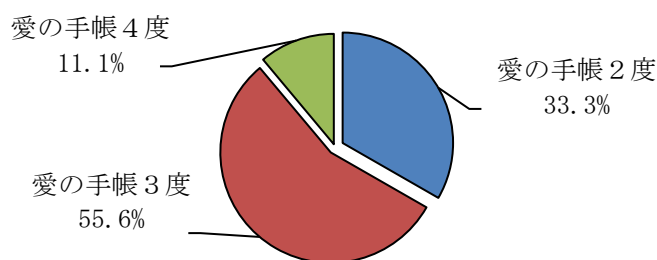
(2) 利用者の障害程度（令和5年3月31日現在）

	愛の手帳			合計
	2度	3度	4度	
男性	4人	6人	1人	11人
女性	2人	4人	1人	7人
計	6人	10人	2人	18人

※ 上記愛の手帳3度所持の男性1人は身体障害2級と重複

※ 上記愛の手帳3度所持の女性1人は身体障害4級と重複

利用者の障害程度



4 作業状況（令和5年3月31日現在）

作業種別	従事人数	延実働人数	年間工賃支払額
簡易作業	18人	209人	2,142,559円
公園清掃	(18人)	(151人)	1,017,512円
自主製品	(16人)	(192人)	285,102円
植木剪定等役務作業	(11人)	(44人)	145,678円
シブヤフロント	(16人)	(103人)	324,842円
草刈り	(11人)	(22人)	53,207円
計	18人	209人	3,968,900円

5 年間行事実施状況

利用者相互の親睦を図るとともに、自主・自立の心を育成してゆくため以下のとおり年間行事を実施した。

	行 事
4月	療育音楽会・誕生会・さをり織り・自然探索会
5月	療育音楽会・誕生会・さをり織り
6月	療育音楽会・さをり織り・食事会・社会見学

7月	療育音楽会・さをり織り
8月	さをり織り・新型コロナワクチン（第4回目）接種（希望者のみ）
9月	療育音楽会・誕生会・スポーツ大会（渋谷区スポーツセンター）・さをり織り
10月	療育音楽会・さをり織り・インフルエンザ予防接種（希望者のみ）・日帰りバス旅行
11月	療育音楽会・誕生会・さをり織り・渋谷区障害者連合運動会
12月	療育音楽会・誕生会・さをり織り・クリスマス会&納め会・新型コロナワクチン（第5回目）接種（希望者のみ）
1月	療育音楽会・誕生会・さをり織り・初詣・新年抱負発表会
2月	療育音楽会・誕生会・さをり織り・カラオケ大会
3月	療育音楽会・さをり織り・お疲れ様会

※ さをり織りはボランティアを招いて実施した。

保護者会	年間3回（4、10、2月）
------	---------------

6 防災体制

渋谷区立幡ヶ谷授産場と連携して総合避難訓練を実施した。

7 職員配置（令和5年3月31現在）

	施設長（兼務）	職業指導員	生活支援員	合計	総合計
正規職員	1人	2人	1人	4人	7人
非正規職員		1人	2人	3人	

※ 渋谷区立幡ヶ谷授産場の施設長が、渋谷区立幡ヶ谷のぞみ作業所の施設長を兼務する。

※ 生活支援員のうち1人はサービス管理責任者

8 勤務体制

職員の勤務時間は、午前8時30分から午後5時15分までである。

9 健康管理

年1回の健康診断を実施した。

嘱託医による月1回の健康相談を実施した。

渋谷区立新橋作業所の事業報告

1 事業運営に関する報告

新橋作業所は、渋谷区条例に基づき、障がい者及び高齢者等の福祉の増進に寄与するために設置された作業所である。

障がい者を対象とした「障害者総合支援法」に基づく指定障害福祉サービス事業所として、就労継続支援B型事業を行っている。また、併せて、高齢者等を対象とした物品の受託加工等事業を行っている。

利用契約した障がい者及び利用承認された高齢者等の方に、就労機会の提供等を行うことにより、その自立を助け、生活の安定を図ることを目標に運営した。

また、作業に関しては、次の事柄に配慮した。

- (1) 危険性、有害性等がなく、作業が安全であること
- (2) 加工材料に含まれている個人情報等の漏洩を防止すること
- (3) 障害等の程度に応じて作業の質、量の配分をすること
- (4) 納期までに確実に履行すること

2 利用定員

- ◆ 障がい者（就労継続支援B型事業） 25人
- ◆ 高齢者等 10人

3 利用者状況（令和5年3月31日現在）

(1) 利用者の内訳

利用資格	人数	人数の内訳	
障がい者	20人		
高齢者等	9人	60歳以上の者	8人
		区長が適当と認めた者等	1人
計	29人		

(2) 利用者の年齢と性別

		18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	合計	平均
		障がい者	男性	3人	1人	1人	0人	3人		
女性	0人		4人	1人	4人	0人	2人	0人	11人	51.0歳
合計	3人		5人	2人	4人	3人	3人	0人	20人	48.5歳
高齢者等	合計	0人	0人	0人	1人	0人	4人	4人	9人	75.3歳

(3) 利用者の障害程度

		身体障害者手帳					合計
		1級	2級	3級	4級	なし	
愛 の 手 帳	2度					1人	1人
	3度	1人				4人	5人
	4度	1人	1人		1人	10人	13人
	なし			1人			1人
合計		2人	1人	1人	1人	15人	20人

4 作業状況（令和5年3月31日現在）

作業種別	在籍人数	延実働人数	年間工賃支払額	B型平均工賃	高齢者等平均工賃
簡易作業	29人	344人	※15,060,238円	34,361円/月	65,515円/月

※ 令和元年度（コロナ禍前）の約96.5%、令和3年度の約17.6%増

※ 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、作業場所及び昼食場所を分散させるとともに、利用者・保護者の理解も得て、朝の混雑を避けるため始業時間を10時に繰下げ、終業時間も最長16時または作業終了時とした。

5 防災体制

消防計画に基づき、年2回（6月、2月）の自衛消防訓練（総合訓練）を、コロナ禍前と同様に行った。

また、1月20日に所内で、開所時における緊急災害時の対応について説明した。

※ 3日分の食料及び飲料水を備蓄（全利用者及び全職員分）

6 職員配置（令和5年3月31日現在）

	施設長	事務	職業指導員	生活支援員	合計	総合計
正規職員	1人	1人	2人	2人	6人	10人
非正規職員			3人	1人	4人	

※ 施設長は、事務1人

※ 正規職員の職業指導員のうち1人はサービス管理責任者

7 勤務体制

職員の勤務時間は、午前8時30分から午後5時15分まで

8 福利厚生

(1) 嘱託医による健康相談を毎月2回実施

(2) レクリエーション行事の実施

◆ バス旅行 令和元年度以来、3年ぶりに実施した。

実施日：令和4年11月18日（金）

行き先：「東京スカイツリー」見学と「ソラマチ」散策

交通：大型観光バス

参加者：31人（障がい者16人、高齢者等5人、職員等10人）

◆ その他 近隣商店街へのお弁当購入、お散歩会（広尾商店街まで）、また、所内で、七夕、お月見（十五夜）、クリスマス会（ケーキと飲み物）、新年食事会（お弁当の配達やデザート等を購入して所内で飲食）、節分、桃の節句等を実施

認定こども園・保育園の事業報告

事業団は、渋谷区の待機児童の解消に寄与するとともに、次世代を育成するという渋谷区の重点施策に応えるため、保育所型認定こども園「神宮前あおぞらこども園」「本町きらきらこども園」「恵比寿のびのびこども園」「本町そよかぜこども園」の4園及び認可保育所「神宮前保育園にじ」「西原保育園ゆめ」の2園を運営している。

そしてこれらこども園や保育園では、「良質な保育、幼児教育」を保障し、就学前のすべての子どもが「基礎的な生活習慣や社会性、礼儀」を身につけ、学習の基礎となる「好奇心、探究心、思考力や豊かな感性」の涵養を図るべく、入園児すべてに「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「渋谷区就学前教育プログラム」等に基づいた良質な保育・教育を一体的に提供している。

子育て支援事業「ひろば事業」は10年目を迎え、一時保育、子育て広場、体験給食、保育体験、子育てに関する講演会、講習会の実施、相談などを行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により今年度の登録者数や利用者数は大きく減った。

現在、保育現場が抱える大きな課題として、保育士の人材を確保して育成すること、保育施設を見える化するなどがあげられる。これらに対応するため、大学の授業に出向き、事業団の保育について説明し、面接指導も行うなどして大学や学生とのつながりを大切にしてきた。今年度は昨年度に引き続き、一部オンラインも取り入れて実施した。

ICT化については、連絡帳アプリ、事務作業等を効率化する保育管理業務システム及び0歳児クラスのうつぶせ寝に反応するベビーセンサーを活用したほか、インターネットを利用した写真の販売を全園で導入した。

また、事業団の保育人材確保、定着及び離職防止を図るため、平成28年度に開始した宿舍借上げ支援事業については、今年度は47人の職員が利用した。

さらに、平成29年度から始めた海外研修は新型コロナウイルス感染症の影響により中止としたが、国内視察は令和5年2月、昨年度に引き続き応答的保育に先駆的な取り組みをしている福岡県の保育園を視察した。

なお、一部の保育園では複数の園児が新型コロナウイルス感染症の陽性者となり、8月8日から13日までの間、又、9月6日から8日までの間、クラス閉鎖となった。

職員に対しては従前より行っていた健康観察表の記載、園内各所に消毒液を配置、室内や遊具等の消毒について徹底するとともに保護者に対しては一層の健康観察をお願いした。

1 職員採用

第1次募集	筆記試験	令和4年9月3日
	面接・実技試験	令和4年10月20日～22日
第2次募集	筆記試験	令和4年11月5日
	面接・実技試験	令和4年11月18日～19日、12月3日
第3次募集	筆記試験	令和5年1月28日
	面接・実技試験	

※ 応募者53人、受験者36人、令和5年4月1日付採用者23人(保育士22人、看護師1人)

2 園児定員

(1) 神宮前あおぞらこども園

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	18人	20人	20人	20人	20人	108人
1号認定児				5人	5人	5人	15人
計	10人	18人	20人	25人	25人	25人	123人

(2) 本町きらきらこども園

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	18人	20人	20人	20人	20人	108人
1号認定児				4人	5人	6人	15人
計	10人	18人	20人	24人	25人	26人	123人

(3) 恵比寿のびのびこども園

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	18人	20人	20人	20人	20人	108人
1号認定児				2人	4人	4人	10人
計	10人	18人	20人	22人	24人	24人	118人

(4) 本町そよかぜこども園

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	18人	20人	20人	20人	20人	108人
1号認定児				3人	5人	5人	13人
計	10人	18人	20人	23人	25人	25人	121人

(5) 神宮前保育園にじ (長時間保育のみ)

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児		6人	9人	10人	10人	10人	45人

(6) 西原保育園ゆめ (長時間保育のみ)

保育種別	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
2号・3号認定児	10人	16人	20人	20人	20人	20人	106人

※ 2号・3号認定児は長時間保育利用児、1号認定児は短・中時間保育利用児

3 在籍数の推移

(1) 神宮前あおぞらこども園

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	96人	97人	98人	99人	95人	95人
1号認定児	6人	6人	6人	6人	6人	6人
計	102人	103人	104人	105人	101人	101人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	96人	93人	94人	94人	94人	94人	1,145人
1号認定児	6人	6人	6人	6人	6人	6人	72人
計	102人	99人	100人	100人	100人	100人	1,217人

(2) 本町きらきらこども園

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	99人	104人	104人	105人	105人	104人
1号認定児	13人	12人	12人	12人	12人	12人
計	112人	116人	116人	117人	117人	116人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	105人	105人	103人	104人	104人	104人	1,246人
1号認定児	12人	12人	12人	12人	12人	12人	145人
計	117人	117人	115人	116人	116人	116人	1,391人

(3) 恵比寿のびのびこども園

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	103人	105人	106人	106人	104人	104人
1号認定児	10人	10人	10人	10人	10人	10人
計	113人	115人	116人	116人	114人	114人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	104人	103人	104人	104人	102人	102人	1,247人
1号認定児	10人	10人	10人	10人	10人	10人	120人
計	114人	113人	114人	114人	112人	112人	1,367人

(4) 本町そよかぜこども園

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	106人	107人	107人	107人	106人	107人
1号認定児	12人	11人	11人	11人	11人	10人
計	118人	118人	118人	118人	117人	117人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	107人	107人	107人	106人	106人	106人	1,279人
1号認定児	9人	9人	9人	9人	9人	9人	120人
計	116人	116人	116人	115人	115人	115人	1,399人

(5) 神宮前保育園にじ

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	30人	29人	29人	29人	29人	29人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	29人	27人	27人	28人	28人	27人	341人

(6) 西原保育園ゆめ

保育種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2号・3号認定児	104人	105人	104人	104人	105人	105人

保育種別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2号・3号認定児	106人	106人	106人	106人	106人	106人	1,263人

4 職員配置（令和5年3月31日現在）

施設	職種	園長	事務	看護師	保育士	用務	合計	総合計
あおぞら	正規職員	1人		1人	23人		25人	35人
	非正規職員		1人		7人	2人	10人	
きらきら	正規職員	1人		1人	26人		28人	39人
	非正規職員		1人		9人	1人	11人	
のびのび	正規職員	1人		1人	22人		24人	32人
	非正規職員		1人		6人	1人	8人	
そよかぜ	正規職員	1人		1人	20人		22人	31人
	非正規職員		1人	1人	6人	1人	9人	
にじ	正規職員	1人			9人		10人	12人
	非正規職員				2人		2人	
ゆめ	正規職員	1人		1人	21人		23人	30人
	非正規職員				6人	1人	7人	
計	正規職員	6人		5人	121人		132人	179人
	非正規職員		4人	1人	36人	6人	47人	

※ 園長は、保育士6人

※ 正規職員の保育士のうち育休取得中が12人、病気休職中が1人、病気休暇取得中1人

※ 非正規職員の保育士のうち育休取得中が2人

※ 上記のほかに短時間勤務臨時職員あり（事務、保育士）

5 勤務体制

職員は1か月ごとの勤務割表により、週平均40時間勤務する。

職種	勤務	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23													
看護師 保育士	①							7:25	—————																16:10													
	②							7:45	—————																16:30													
	③							8:00	—————																16:45													
	④							8:30	—————																17:15													
	⑤							9:00	—————																17:45													
	⑥							9:30	—————																18:15													
	⑦							10:00	—————																18:45													
	⑧								11:00	—————																19:45												
	⑨									12:00	—————																20:45											
事務 用務	平常							8:30	—————																17:15													

6 年間行事実施状況

例年であれば、日本の伝統文化の継承や季節に合わせた行事を取り入れ、次のような年間の行事を計画し実施しているところだが、新型コロナウイルス感染症の影響のため、従前より縮小して実施したものもあった。

(1) こども園・保育園の共同年間行事

	行事名	ねらい	内容
4月	入園進級お祝い会	<ul style="list-style-type: none"> 新しい友達を知る。 入園、進級を喜び、みんなでお祝いをする。 	<ul style="list-style-type: none"> クラス、子ども、職員の紹介 お楽しみの催しもの(パネルシアター・紙芝居など)
5月	こどもの日の集会	<ul style="list-style-type: none"> こどもの日の由来を知る。 友達と一緒に体を動かし、ゲームを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> クラスの製作物紹介 体操、ゲームなど
7月	縁日ごっこ 夏まつり (園児のみ参加)	<ul style="list-style-type: none"> 親子で縁日ごっこに参加し、地域の人と一緒に楽しく過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> 手づくりおもちゃコーナー お店屋さん、レストラン 盆踊り 夕方または土曜日に実施
	七夕の集会	<ul style="list-style-type: none"> 七夕について知り、楽しんで集会に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 七夕の由来 パネルシアター
	プール開き (全園未実施)	<ul style="list-style-type: none"> プールでの約束事を知る。 プール遊びを友達と楽しむことに期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> 演劇鑑賞 体操、ゲーム
8月	すいか割り	<ul style="list-style-type: none"> すいか割りをみんなで楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 乳児、幼児に分かれてすいか割り
10月	運動会	<ul style="list-style-type: none"> 親子で体を動かし、楽しい1日を過ごす。 一人ひとりの子どもが力を発揮し、みんなで成長を喜び合う。 	<ul style="list-style-type: none"> オープニング 体操、競技、遊戯 地域競技
	バス遠足 (3歳～5歳)	<ul style="list-style-type: none"> 秋の自然の中で園外保育を楽しむ。 秋の自然を感じながら芋ほりを楽しむ。 他園の友達とバス遠足を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 行き先は昭和記念公園、荒幡農園など 実施日が雨天の場合は、水族館などに変更
12月	幼児親子お楽しみ会	<ul style="list-style-type: none"> 歌や劇ごっこなど、年齢ごとにねらいを持ち表現する。 保護者に見守られながら表現遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表会 職員による出し物 園児、保護者、職員のみで楽しんだ。
	年末こども会	<ul style="list-style-type: none"> 集会を楽しみ、クリスマスの雰囲気味わう。 会食、おやつを異年齢児と過ごすことで交流を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 集会、会食 キャンドルサービス クリスマスの製作の紹介 サンタからお楽しみプレゼント
1月	新年こども会	<ul style="list-style-type: none"> 新しい年の始まりを祝う。 お正月遊びや伝承遊びを知り楽しむ。 もちつきを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 集会、獅子舞 十二支の由来 年長による書き初め お正月遊び
2月	節分	<ul style="list-style-type: none"> 節分について知る。 豆まきを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 節分の由来 ゲーム、豆まき

3月	ひな祭り	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな祭りについて知る。 ・お茶会や会食を通じて、異年齢児の交流を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな祭りの由来 ・集会、ゲーム ・お雛様の製作紹介 ・会食、お茶会
	お別れ遠足	<ul style="list-style-type: none"> ・春の訪れを感じ、異年齢の友達と一緒に遊ぶ。 ・みんなで楽しい思い出を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラス年長児との触れ合い遊び ・幼児クラスオリエンテーリング ・行き先は代々木公園などで、雨天の場合は園内に変更
	就学お祝い会	<ul style="list-style-type: none"> ・年長児をみんなで祝う。 ・就学に期待を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、地域、来賓、在園児で就学のお祝い ・年長児の保護者体験給食
	お別れ会	<ul style="list-style-type: none"> ・卒園、退園する園児や異動、退職する職員とお別れをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・卒園、退園する園児や異動、退職する職員を紹介

※ 上表のほか、敬老の日は在園児の祖父母に園から敬老カードを送付した。

(2) 小学校等の連携について

6園では就学に向けてのオープンスクールに参加したが、新型コロナウイルス感染症の影響のため、従前より縮小して実施した。神宮前あおぞらこども園は神宮前小学校に4回、本町きらきらこども園は渋谷本町学園小学校に1回、恵比寿のびのびこども園は長谷戸小学校に2回、本町そよかぜこども園は渋谷本町学園小学校に2回、神宮前保育園にじは神宮前小学校に4回、西原保育園ゆめは西原小学校に2回参加した。

<例年実施している主な内容>

テーマ	内容
学校訪問 (実施園あり)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校がどんな場所なのかを実際に見学、探検した。 ・通学路を確認した。
1年生と一緒に学ぶ (実施園あり)	<ul style="list-style-type: none"> ・机や椅子の大きさを体験した。 ・音楽、国語、算数、英語、体育、図工などの授業を見学し参加した。 ・図書室で読書をした。
楽しく英語で遊ぼう (全園未実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT(外国語指導助手)とのコミュニケーションを楽しんだ。
体育館で遊ぼう (実施園あり)	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな体育館で、運動遊びをした。
プールで遊ぼう (全園未実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の大きなプールで安全に泳いだ。
体験給食 (全園未実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の給食の形態や食器の違い、給食時間などを体験した。 ・栄養士の話聞いた。
様々な行事に参加する (実施園あり)	<ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会、学芸会、作品展、パレードを見学した。
放課後クラブ訪問 (実施園あり)	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後クラブを体験した。
園訪問 (全園未実施)	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園や保育園に小学生が訪問した。 ・小学校の先生より保護者会で就学に向けての説明を受けた。

(3) 地域、高齢者との交流

例年であれば、各園が地域の清掃活動に参加したり、地域の特別養護老人ホームやデイサービス、シニアクラブ等と交流をしたり、祖父母や近隣の方を園に招待するなどの交流を実施していたが、今年度は昨年度と同様、高齢者との交流については新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったものもあった。

そうした状況の中、神宮前あおぞらこども園は、近隣保育園と交流をしたり、園の地域コーディネーターの協力により、ビルの屋上で野菜の種まきや収穫を行ったり、味噌づくり体験を行った。

本町きらきらこども園は、地域の清掃活動やお祭りへの参加や、近隣保育園との交流を行った。また、近隣の方を園に招待した。

恵比寿のびのびこども園は、5歳児が作成したクリスマスリースなどを地域の方に届けた。

本町そよかぜこども園は、地域の高齢者と年長児がオンライン交流を行った。

神宮前保育園にじは、園の地域コーディネーターの協力により、ビルの屋上で野菜の種まきや収穫を行ったり、味噌づくり体験を行った。また、絵本を通して出版社の方と交流を行った。

西原保育園ゆめは、5歳児が作ったドライフラワーを近隣の方や高齢者施設等に届けた。

(4) こども園・保育園での体育指導

- ・子どもの健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う。
- ・子どもの保育にあたる職員が、安全な体育指導の方法を学ぶ。
- ・毎日、短い時間でも体を動かすプログラムを取り入れ、楽しく参加する。

上記3つを目的に、株式会社渋谷サービス公社の体育指導員に指導を依頼し、全園で毎月1回実施した。

その成果を発表する機会について、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により各園をリモートで繋ぐオンラインによる開催としたが、今年度は3年振りに対面で実施した。

[実施対象]

3歳児・4歳児・5歳児 計329人

[令和4年度のねらい]

- ・子どもの運動能力を高める。
- ・体の巧みさが増す幼児期に、専門指導員が指導することにより、運動能力の発達向上を目指し、子ども達の運動欲求を満たす。

月	各月のねらい	内容
4月 5月 6月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりをする。 ・1人技をする。 ・マット運動をする。 ・鉄棒をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物を真似て身体を動かす。 ・片足バランス、V字等を楽しく実施 ・でんぐりポーズ、前転体操座り等をする。 ・鼻つけ、けりあげ等をする。
7月 8月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりをする。 ・1人技をする。 ・鉄棒をする。 ・跳び箱をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物を真似て身体を動かす。 ・片足バランス、V字等をする。 ・つばめ、前まわり等をする。 ・グーグージャンプ、グーチーター等をする。
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりをする。 ・鉄棒をする。 ・跳び箱をする。 ・発表をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物を真似て身体を動かす。 ・逆上がりを練習する。 ・グーグージャンプ、グーチーター等をする。 ・全員1回ずつ発表する。
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりをする。 ・跳び箱をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・V字バランス、フリッジ等をする。 ・グーグージャンプ、開脚飛び等をする。
11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりをする。 ・鉄棒をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・V字バランス、フリッジ、壁倒立等をする。 ・足抜き回り、つばめ等をする。
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりをする。 ・忍者遊びをする。 ・鉄棒をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・壁倒立、手押し等をする。 ・指示行動をする。 ・つばめ、逆上がりの練習等をする。
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりをする。 ・忍者遊びをする。 ・マット運動をする。 ・ダンスをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・V字バランス、フリッジ、壁倒立等をする。 ・指示行動をする。 ・前転、後転をする。 ・音楽発表をする。
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・身体づくりをする。 ・忍者遊びをする。 ・鉄棒をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フリッジ、映像を見て真似る、手押し車等をする。 ・指示行動をする。 ・蹴り上げ練習、補助あり逆上がり等をする。

(5) 体力測定

株式会社渋谷サービス公社の体育指導員に協力を依頼して、各園の園児4歳児、5歳児を中心に2月、3月に体力測定を行った。その結果を活用し、体育指導では体幹を鍛える運動を取り入れるなどして運動能力の発達向上を目指した。

7 ひろば事業

神宮前あおぞらこども園、本町きらきらこども園、恵比寿のびのびこども園及び本町そよかぜこども園において、一時保育（利用時間は4時間または8時間、1か月に1人10回まで利用可能）及び子育てひろば（体験給食、子育てに関する講演会、講習会の実施、相談、身体計測など）を行っているが、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けた。

(1) 一時保育の利用

登録者及び利用者の合計数を昨年度と比較すると、登録者では15人、利用者では131人増えたが、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により利用が落ち込み、令和元年度と比較すると、登録者は約61%、利用者は約58%となった。

利用の理由は、例年のとおり「リフレッシュ」「子どもが集団生活に慣れるため」「病院受診のため」が上位を占めており、全体の約71%となっている。

0～2歳児の利用が多く、全体の約91%となっている。全体を見ると4時間利用者が約59%、8時間利用者が約41%となっている。

ア 登録者・利用者（上段は登録者、下段は利用者）

施設	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	4時間利用	8時間利用
あおぞら	42人	8人	12人	2人	6人	2人	72人		
	423人	162人	177人	4人	21人	14人	801人	590人	211人
きらきら	25人	12人	5人	1人	2人	2人	47人		
	220人	202人	81人	4人	2人	5人	514人	249人	265人
のびのび	27人	11人	1人	5人	1人	1人	46人		
	108人	30人	20人	31人	7人	6人	202人	139人	63人
そよかぜ	36人	31人	9人	2人	1人	4人	83人		
	95人	315人	132人	82人	2人	8人	634人	301人	333人
計	130人	62人	27人	10人	10人	9人	248人		
	846人	709人	410人	121人	32人	33人	2,151人	1,279人	872人

イ 地域別登録者数

神宮前あおぞらこども園は神宮前地域が一番多く、72人のうち28人を占めており、次が千駄ヶ谷地域9人と続いている。

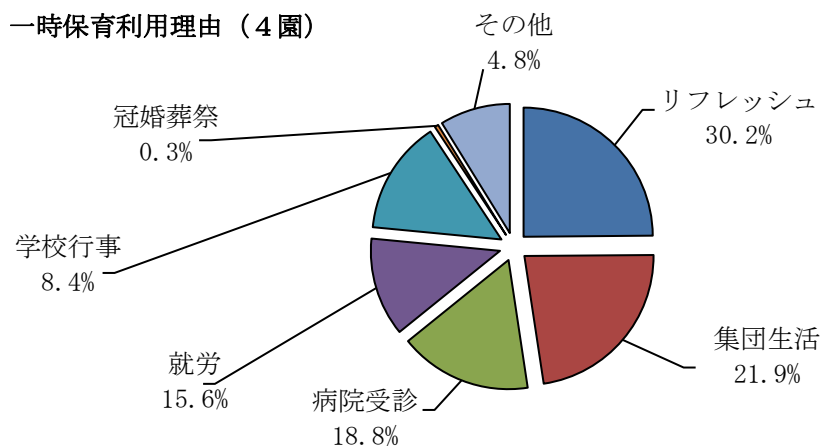
本町きらきらこども園は本町地域が一番多く、47人のうち29人を占めており、次が代々木地域7人と続いている。

恵比寿のびのびこども園は恵比寿西地域が一番多く、46人のうち12人を占めており、次が恵比寿南地域9人と続いている。

本町そよかぜこども園は本町地域が一番多く、83人のうち34人を占めており、次が幡ヶ谷地域11人と続いている。

ウ 理由別利用者数（複数回答あり）

理由 施設	リフレッシュ	子どもが 集団生活 に慣れる ため	病院 受診	学校 行事	就労	冠婚 葬祭	その他	合計
あおぞら	85人	36人	43人	23人	52人	0人	14人	253人
きらきら	30人	29人	21人	9人	10人	1人	6人	106人
のびのび	27人	26人	16人	8人	9人	0人	3人	89人
そよかぜ	54人	51人	42人	14人	30人	1人	8人	200人
計	196人	142人	122人	54人	101人	2人	31人	648人



（2）ひろばの利用

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の利用者は昨年度より408人増となったが、令和元年度の約31%にとどまっている。

ア ひろば事業内訳

項目 施設	体験給食	見学会	身体計測	ヨガ、体操 ベビーマッ サージ	Eスタート (英語)	自由利用	合計
あおぞら	0人	32人	0人	52人	39人	0人	123人
きらきら	0人	72人	0人	58人	28人	91人	249人
のびのび	0人	82人	0人	114人	74人	30人	300人
そよかぜ	0人	63人	19人	93人	25人	239人	439人
にじ	0人	0人	0人	5人	0人	0人	5人
ゆめ	0人	140人	0人	11人	0人	0人	151人
計	0人	389人	19人	333人	166人	360人	1,267人

※ 上記項目は、子どものみが参加するもののほか、親子で参加するものもあるが、表記は「人」で統一した。

イ 年齢別登録者

施設	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	妊婦	合計
あおぞら	2人	7人	0人	2人	1人	0人	0人	12人
きらきら	36人	18人	2人	3人	1人	1人	4人	65人
のびのび	17人	14人	3人	1人	2人	0人	0人	37人
そよかぜ	32人	26人	7人	5人	1人	0人	0人	71人
にじ	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
ゆめ	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
計	87人	65人	12人	11人	5人	1人	4人	185人

※ 見学会、行事（夏祭り・運動会）の参加者は登録者に含めない。

8 防災対策・避難訓練実施状況

消防法に基づき消防計画を策定し、防災設備・避難誘導器具等の日常点検の徹底を図った。年間の防災計画に従い避難訓練を毎月1回行うとともに、その計画の中に火災・消火訓練、地震、けがや事故に対応する救急車の要請訓練、不審者訓練、災害訓練、引取り訓練、さらにはJアラート訓練も取り入れて、様々な局面に対応できるよう訓練を行った。また、本町きらきらこども園は冠水の危険性があることから、備蓄食料を上階に移動させ、冠水発生時の訓練を行った。

	種別	災害想定	実施内容
4月	机上訓練 火災	調理室より出火	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画と防災職員体制を確認した。 避難方法、誘導経路、役割分担を確認した。 防災頭巾、靴、避難用品を点検した。
5月	火災	近隣より火災	<ul style="list-style-type: none"> 火災発見者は、慌てず正確に知らせる訓練をした。
6月	地震 火災 不審者	園内 地震火災 安全退避訓練	<ul style="list-style-type: none"> 地震発生を想定し、園児の安全を確保し、敏速に避難させた。 不審者侵入の際は、できるだけ不安を抱かせないように不審者から遠ざけ、不審者に対応する者は刺激しないようにする訓練をした。
7月	火災	火災 遅番時間帯 事務室	<ul style="list-style-type: none"> 火災発見者は、慌てず正確に知らせる訓練をした。 ベルの音を聞き、非常事態が起きたことを知った。 遅番時間帯の火災に対する基本的な動き方を経験した。
8月	地震 火災	関東地方 中震度発生 火災	<ul style="list-style-type: none"> 水遊び、プール遊び中の避難方法を訓練した・水着等の子どもの安全を確保した。 職員同士、声を掛け合って行動する訓練をした。
9月	地震 火災	関東地方 強震度発生 近隣より火災	<ul style="list-style-type: none"> 園庭に集まる訓練をした。 第一避難場所まで避難する訓練をした。 引き渡し訓練を行った。
10月	地震 火災	火災総合訓練 通報訓練 消火訓練	<ul style="list-style-type: none"> 消防署員の指導・講評を受けた 災害の怖さを子ども達に教えた。 通報、避難、消火など一連の動きを敏速に行う訓練をした。
11月	地震 火災	散歩先にて地震発生	<ul style="list-style-type: none"> 散歩中に災害が発生し、その場での避難誘導と園への報告を行った。
12月	地震 火災	関東甲信越地方 強震度発生 午睡時	<ul style="list-style-type: none"> 午睡中の園児の安全を確保し、敏速に避難させる訓練をした。
1月	火災 防災	近隣店舗より出火 早朝保育時 Jアラートに対応	<ul style="list-style-type: none"> 初期消火及び消火の報告の訓練をした。 通報、消火協力の方法を再確認した。 窓の近くから離れ建物の中心に避難し、頭や目を守る訓練をした。
2月	火災	不審者侵入 火災	<ul style="list-style-type: none"> 警察に通報し、安全に避難させる訓練をした。 調理室ごみ置き場より出火した場合の避難訓練をした。 不審者対応確認とさすまたの使い方の指導を受けた。

3月	地震 火災 机上訓練	関東地方 中震度発生	<ul style="list-style-type: none"> ・予告なしの総合訓練を行う。 ・年間反省を行い、次年度の課題を検討した。
----	------------------	---------------	---

※ しぶや保育メール（緊急メール配信システム）登録者状況

神宮前あおぞらこども園は約95%、本町きらきらこども園は97%、恵比寿のびのびこども園は96%、本町そよかぜこども園は96%、神宮前保育園にじは100%、西原保育園ゆめは約94%と高い登録率となっている。

9 職員研修

(1) 新規採用者に対する取り組み

こども未来課の保育アドバイザーらが企画する採用時総合研修では、新人保育士の心得、0歳児保育、記録の書き方、防災等に関すること、また、普通救急救命講習会では蘇生法等を学んだ。

また、総合研修の後、3月には配属予定のこども園や保育園において、数日間の実践的な現場研修を実施した。

さらに、配属半年後には振り返り研修を実施し、保育実践に関する意見交換や情報共有を行った。

(2) 現職員研修の取り組み

質の高い保育教育サービスを提供するために、職員の質の向上、専門技術の習得など様々な研修に参加した。

なお、例年実施していた海外研修は新型コロナウイルス感染症の影響により中止とし、国内視察は応答的保育に先駆的な取り組みをしている福岡県の保育園を訪れた。

令和5年2月、視察前にオンライン研修を行い、参加者は園での取組みをまとめて発表し合った。また、視察後も参加者による報告会を行った。さらには3月、視察した保育園の園長らを講師として「応答的保育」に関するオンライン研修会を開催した。各園から多くの職員が参加したので、新年度への取組みへとつながった。

研修内容	延べ参加人数	研修機関・講師等
区研修 職層及び職場研修 (コーディネーター研修、ミドルリーダー研修、保護者対応危機管理研修、乳児担当担当研修、幼児担当研修等)	215人	渋谷区子ども家庭部保育課
保育の質の向上、乳児期の対話、虐待の基礎知識等	79人	日本保育者支援協会
就学前オープンスクールの推進、保幼小の円滑な接続	6人	渋谷区教育委員会
職層研修、配慮が必要な子どもの関わり方、ハラスメント研修、わらべ歌等	172人	渋谷区社会福祉事業団
キャリアアップ研修	24人	指定研修期間（法人、学校等）

(3) 各園の職場研修の取り組み

各園での職員構成、保育力及び地域性を踏まえて実施した。

ア 神宮前あおぞらこども園

和太鼓演奏、荒馬踊り実技、応答的保育を考える、保育環境を考える、水遊びでの安全指導

イ 本町きらきらこども園

プール指導と監視、保護者対応、嘔吐処理、応答的保育、環境構成、心理士による配慮が必要な子どもの対応

ウ 恵比寿のびのびこども園

人権・ハラスメント、応答的保育（育児担当制、縦割り異年齢保育、担任交換）環境整備ワークショップ及びメンテナンス、嘔吐処理、座薬の入れ方、エピペンの使い方

エ 本町そよかぜこども園

応答的保育、園内外の安全環境、主体的に遊べる環境、嘔吐処理、AED、エピペン、チャイルドビジョン、光の探究、レッジョエミリアアプローチ、紙と素材、ドキュメンテーション

オ 神宮前保育園にじ

応答的保育を学ぶ、異年齢保育、環境整備

カ 西原保育園ゆめ

嘔吐処理、緊急時対応、プール・水遊びの管理、危機管理（ヒヤリハット、事故報告）、環境整備、環境整備ワークショップ

キ その他

「虐待の予防チェック表」を作成して全職員で確認を行った。また、「自己評価チェックリスト」を作成し、各自が年3回チェックをして保育の質の向上を目指した。

10 その他の取り組み

(1) 第三者評価の実施

ア 西原保育園ゆめ

6月 9日	事前打ち合わせ（リモート）
10月 1日	職員説明会及び保護者アンケート配付
11月16日	訪問調査 保護者 104人中83人回答（回答率：80%） 職員 21人中21人回答（回答率：100%）
3月27日	評価結果報告（リモート）
4月以降	ホームページ公開

イ 恵比寿のびのびこども園

6月 9日	事前打ち合わせ（リモート）
10月 3日	職員説明会及び保護者アンケート配付
12月13日	訪問調査 保護者 99人中52人回答（回答率：53%） 職員 23人中23人回答（回答率：100%）
3月27日	評価結果報告（リモート）
4月以降	ホームページ公開予定

(2) 職場体験の実施

例年は小学生、中学生、高校生の体験を受入れていたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により縮小実施となった。

施設	小学生	中学生	高校生	合計
あおぞら	0人	5人	2人	7人
きらきら	0人	2人	1人	3人
のびのび	0人	6人	4人	10人
そよかぜ	0人	9人	1人	10人
にじ	0人	0人	0人	0人
ゆめ	0人	0人	0人	0人
計	0人	22人	8人	30人

(3) 実習生及びインターンシップ受入れ

実習生については、新型コロナウイルス感染症の影響に十分配慮しながら、昭和女子大学人間社会学部初等教育学科（2人）、東京都市大学人間科学部児童学科（1人）、帝京短期大学こども教育学科（1人）、日本デザイン福祉専門学校保育こどもデザイン学科（1人）から受入れた。なお、インターンシップの受入れはなかった。

(4) 夏体験ボランティア受入れ

例年は中学生や高校生、大学生のボランティアを受入れていたが、今年度は昨年度と同様、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

(5) 苦情対応について

利用者から寄せられた苦情、意見、指摘を真摯に受け止め、ISO10002：2004に基づいた苦情対応、解決に向けて迅速、誠実、公正に対応を行い、原因を特定し、再発防止策を講じている。

また、各園に「ご意見箱」を玄関に設置し、年度末や保護者会、行事毎にアンケートを実施し、利用者の要望を把握している。各園の苦情については年度毎にホームページで公開している。

(6) 健康教育

全園の幼児クラスでは、毎月の身体計測の際に看護師による健康教育を実施している。手洗いやうがいの指導、栄養の大切さ、自分の体の仕組み、早寝早起きの励行等について、紙芝居や人形などを使い見て分かるように行っている。毎月、年齢ごとに怪我の内容や感染症の流行なども把握しており、事故予防や安全衛生を心掛けている。

(7) 職員による動画の配信

昨年度は、新型コロナウイルス感染症による登園自粛期間中にクラス担任らが手遊びや歌、読み聞かせ等の動画を制作して各家庭へ配信したが、今年度はそれに加えて、オンライン保護者会の時に各クラスの様子を配信したり、又、行事に向けた練習風景、誕生会等の様子を配信した園もあった。

(8) 保護者との連携

新型コロナウイルス感染症の影響により、これまで行っていた対面による保護者会のほか、オンラインによる保護者会も実施した。

地域包括支援センターの事業報告

地域包括支援センターは、地域で暮らす高齢者が住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活を継続できるよう、高齢者の生活を支える総合相談窓口である。

事業団は、「あやめの苑・代々木地域包括支援センター」「つばめの里・本町東地域包括支援センター」「笹幡地域包括支援センター」「ケアコミュニティ・原宿の丘地域包括支援センター」「豊沢・新橋地域包括支援センター」「富ヶ谷・上原地域包括支援センター」「千駄ヶ谷・北参道地域包括支援センター」及び「恵比寿西二丁目地域包括支援センター」に、今年度より「総合ケアコミュニティ・せせらぎ地域包括支援センター」を加えた9か所を渋谷区から受託運営し、地域包括ケアシステムの推進に向け、地域との連携強化を図るとともに課題把握に努めた。

そのうち、あやめ、笹幡、原宿の丘及び豊沢・新橋の4センターは、認知症地域支援推進員を置く機能強化型支援センターであり、圏域における統括・総合調整の機能を担っている。認知症対策としては、渋谷区と共に、第8期計画「しぶや いきいき あんしんプラン」に策定されている新規事業「本人ミーティング」・「認知症検診」・「認知症予防プログラム」を実施した。また、「チームオレンジの構築」に向けて、新型コロナウイルス感染拡大で休止されている本人や家族の居場所及び地域ネットワークの拠点としての「認知症カフェ」の再開を目指し、関係者と連携を図った。

さらに、普及・啓発活動として認知症相談会・認知症サポーター養成講座・フォローアップ研修・認知症フォーラムを実施し、人材の発掘やネットワークの構築に取り組んだ。

1 事業内容

- (1) 介護予防ケアプラン作成及び介護予防事業の紹介
- (2) 高齢者の介護や保健・福祉サービス利用等の総合相談支援
- (3) 虐待に関する相談等の権利擁護事業
- (4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

◆ 地域包括支援センター利用状況（令和5年3月31日現在）

ア 相談件数

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月
豊沢・新橋	802件	696件	876件	817件	781件	839件
恵比寿西	965件	814件	816件	951件	1,032件	888件
富ヶ谷・上原	734件	661件	790件	661件	812件	744件
せせらぎ	813件	1,056件	1,122件	1,380件	1,240件	1,071件
あやめ	896件	932件	994件	866件	951件	956件
本町	926件	859件	1,064件	923件	1,036件	1,001件
笹幡	1,164件	1,111件	1,222件	1,124件	1,340件	1,207件
千駄ヶ谷・北参道	588件	619件	639件	680件	705件	610件
原宿	651件	700件	796件	657件	694件	710件

施設	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
豊沢・新橋	862件	850件	858件	855件	807件	849件	9,892件
恵比寿西	828件	827件	779件	863件	889件	864件	10,516件
富ヶ谷・上原	811件	792件	823件	833件	761件	788件	9,210件
せせらぎ	950件	1,077件	1,080件	983件	995件	1,085件	12,852件
あやめ	925件	1,013件	898件	930件	856件	903件	11,120件
本町	1,024件	1,027件	966件	928件	888件	1,124件	11,766件
笹幡	1,214件	1,203件	1,389件	1,344件	1,334件	1,437件	15,089件
千駄ヶ谷・北参道	581件	615件	626件	587件	574件	593件	7,417件
原宿	674件	645件	662件	668件	732件	704件	8,293件

イ 介護予防事業新規契約件数（総合事業含む）

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月
豊沢・新橋	11件	14件	14件	12件	8件	5件
恵比寿西	4件	3件	4件	6件	6件	5件
富ヶ谷・上原	5件	2件	7件	4件	6件	3件
せせらぎ	5件	8件	9件	4件	6件	6件
あやめ	7件	4件	6件	6件	7件	4件
本町	9件	6件	9件	16件	6件	8件
笹幡	6件	7件	6件	9件	8件	13件
千駄ヶ谷・北参道	4件	8件	5件	3件	1件	2件
原宿	2件	3件	7件	6件	7件	5件

施設	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
豊沢・新橋	2件	7件	12件	4件	18件	8件	111件
恵比寿西	2件	5件	5件	6件	7件	6件	57件
富ヶ谷・上原	11件	4件	7件	6件	8件	10件	73件
せせらぎ	8件	10件	7件	6件	7件	7件	83件
あやめ	12件	5件	5件	5件	8件	6件	75件
本町	13件	9件	5件	3件	15件	12件	111件
笹幡	10件	7件	9件	11件	7件	7件	100件
千駄ヶ谷・北参道	9件	4件	1件	4件	4件	5件	50件
原宿	3件	4件	1件	1件	5件	7件	44件

ウ ケアプラン作成件数

(ア) 介護予防支援（予防給付）

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月
豊沢・新橋	151件	153件	159件	166件	160件	158件
恵比寿西	107件	112件	109件	98件	99件	95件
富ヶ谷・上原	79件	86件	86件	84件	85件	83件
せせらぎ	152件	155件	157件	160件	159件	161件
あやめ	115件	111件	112件	108件	111件	109件
本町	150件	152件	156件	150件	154件	153件
笹幡	176件	181件	182件	181件	180件	171件
千駄ヶ谷・北参道	71件	72件	76件	69件	74件	72件
原宿	99件	96件	98件	94件	96件	94件

施設	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
豊沢・新橋	156件	148件	156件	153件	143件	149件	1,852件
恵比寿西	98件	96件	91件	85件	87件	90件	1,167件
富ヶ谷・上原	83件	83件	86件	90件	86件	90件	1,021件
せせらぎ	151件	156件	153件	159件	151件	149件	1,863件
あやめ	101件	110件	105件	106件	98件	97件	1,283件
本町	156件	158件	161件	159件	154件	154件	1,857件
笹幡	181件	182件	182件	181件	181件	178件	2,156件
千駄ヶ谷・北参道	75件	74件	74件	73件	73件	72件	875件
原宿	90件	94件	94件	93件	86件	92件	1,126件

(イ) 介護予防ケアマネジメント（第1号介護予防支援事業：総合事業）

施設	4月	5月	6月	7月	8月	9月
豊沢・新橋	72件	77件	71件	76件	75件	76件
恵比寿西	66件	68件	63件	72件	67件	71件
富ヶ谷・上原	73件	74件	70件	73件	70件	75件
せせらぎ	60件	64件	63件	65件	64件	63件
あやめ	73件	74件	76件	76件	76件	78件
本町	82件	83件	86件	78件	85件	83件
笹幡	84件	78件	84件	87件	87件	94件
千駄ヶ谷・北参道	54件	52件	54件	52件	53件	50件

施設	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
豊沢・新橋	73件	75件	73件	71件	63件	66件	868件
恵比寿西	69件	69件	70件	72件	69件	70件	826件
富ヶ谷・上原	76件	77件	74件	73件	69件	73件	877件
せせらぎ	60件	64件	65件	59件	61件	60件	748件
あやめ	85件	86件	82件	81件	80件	81件	948件
本町	90件	86件	91件	85件	85件	86件	1,020件
笹幡	93件	92件	89件	82件	90件	90件	1,050件
千駄ヶ谷・北参道	50件	55件	60件	57件	55件	54件	646件
原宿	53件	46件	46件	45件	44件	44件	555件

2 職員配置（令和5年3月31日現在）

施設	職種	課長	事務	介護支援 専門員	保健師・ 看護師	合計	総合計
豊沢・新橋	正規職員			3人	4人	7人	8人
	非正規職員			1人		1人	
恵比寿西二丁目	正規職員			3人	1人	4人	5人
	非正規職員			1人		1人	
富ヶ谷・上原	正規職員			4人	1人	5人	5人
	非正規職員						
せせらぎ	正規職員			4人	1人	5人	7人
	非正規職員			2人		2人	
あやめ	正規職員	1人		4人	3人	8人	8人
	非正規職員						
本町	正規職員			4人	1人	5人	6人
	非正規職員			1人		1人	
笹幡	正規職員			6人	1人	7人	8人
	非正規職員			1人		1人	
千駄ヶ谷・ 北参道	正規職員			3人	1人	4人	5人
	非正規職員			1人		1人	
原宿	正規職員			5人	1人	6人	6人
	非正規職員						
総合計	正規職員	1人		32人	13人	46人	58人
	非正規職員			5人		5人	

※ センター長が課長（介護支援専門員）である施設

あやめ（地域包括ケア担当課長）

※ センター長が介護支援専門員を兼務している施設

豊沢・新橋、恵比寿西二丁目、富ヶ谷・上原、せせらぎ、本町、笹幡、千駄ヶ谷・北参道、原宿

※ 正規職員のうち介護支援専門員1人が産休取得中、看護師2人が育休取得中

3 勤務体制

職員は1か月ごとの勤務割表により、週平均40時間以内の勤務とする。

職種	勤務	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
介護支援専門員 看護師	平常	8:30	—————											17:15					
	遅番A	9:00	—————											17:45					
	遅番B	10:15	—————											19:00					

4 職員研修

地域包括支援センターは、介護支援専門員の資格に関わる専門研修等に参加している。高齢者を支援する上で必要な専門的知識をより深めるため、認知症研修、高齢者虐待防止や在宅医療等の研修、権利擁護に関する研修等に参加し、福祉・保健・医療の連携を図るため、自己研鑽に努めた。

なお、延参加人数は251人、延研修日数は148日である。